

318-5841

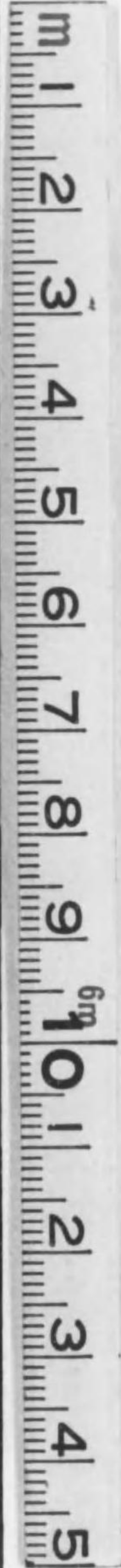


1200501374368

3

5071

五二五
千記念
福井縣
郷土書目
石橋重吉編



始



福井圖書館長 石橋重吉編

創立二十五周年記念

福井縣郷土書目

福井圖書館發行

福井圖書館長 石橋重吉編

發行所寄贈本

創立二十五周年記念

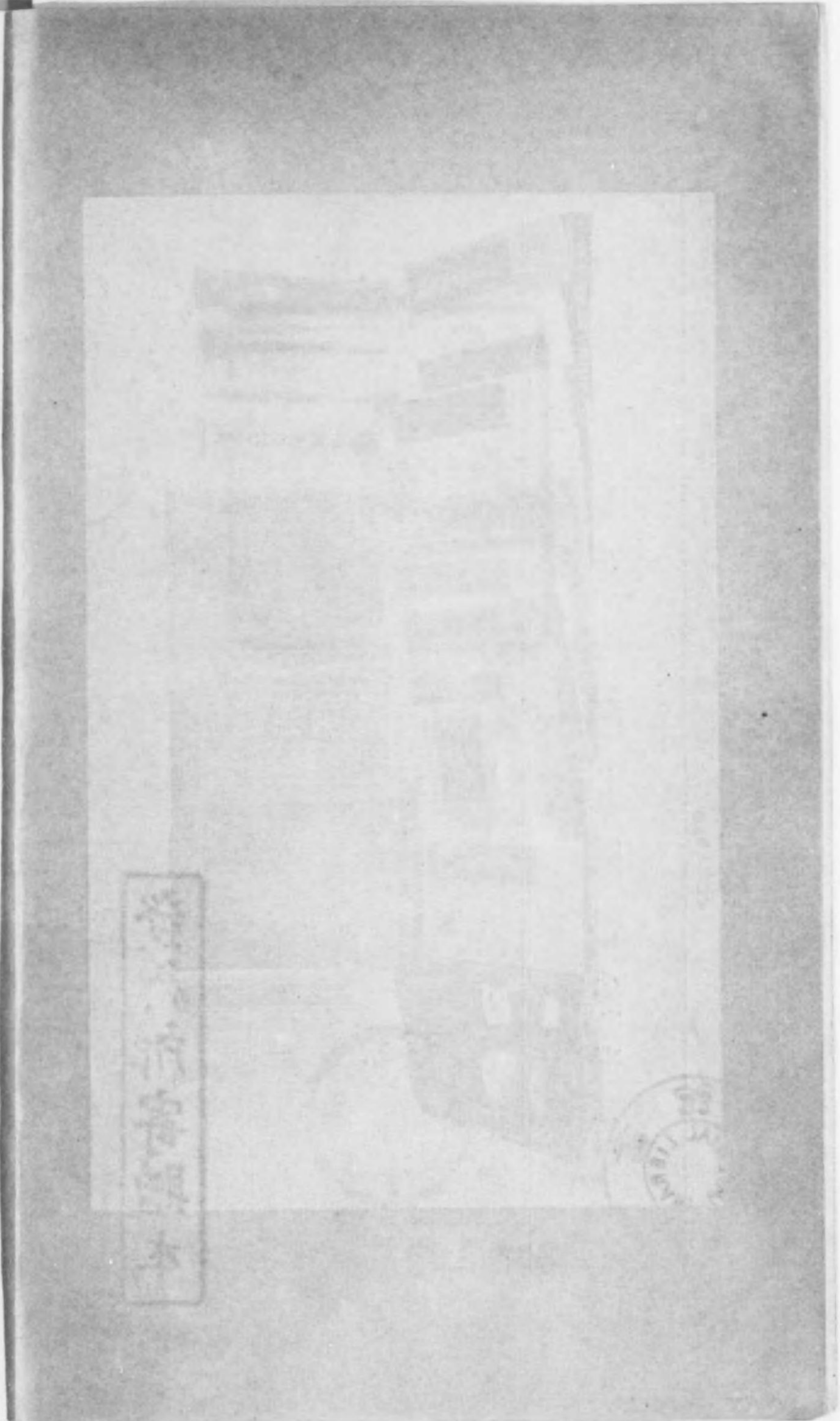
福井縣郷土書目



福井圖書館發行



藏館書圖井福 書圖の土郷越若



318-5841

目次

口繪	一
はしがき	二
例言	三
總記	四
目錄 參考目錄	五
道德	六
神道 宗教	七
神道 佛教	八
言語學	九
言語 辭書 方言	一〇
文學	一一
國文 和歌 狂歌 謠曲 雜曲	一二
連歌 俳諧 越前關係俳書	一三
日記 紀行 隨筆	一四
漢文 漢詩	一五
藝術	一六

歴史

一般史……………五

地方史……………六

戦史……………六

系圖 古文書 墳墓……………六

地理

地理……………六

地誌……………六

若狭 越前……………七

福井市……………七

今立郡……………七

丹生郡……………七

敦賀郡……………七

三方郡……………七

遠敷郡……………七

大阪郡……………七

大野郡……………七

南條郡……………七

足羽郡……………七

吉田郡……………七

阪井郡……………七

教育……………八

法政……………八

經濟……………八

産業……………八

工業……………八

醫學……………八

兵事……………八

はしがき

讀書家は、常に内外の典籍目録を座右に置いて、一事一物を研究するに、先づ其参考圖書を検索して、成るべく多くの資料を蒐集することが、何より急務であると思ふ。これが便宜を図る爲、古來支那では、漢の七略・別録を始とし、宋以來、崇文總目・郡齋讀書志・直齋書錄解題・文淵閣書目・天祿琳琅書目・千頃堂書目・四庫全書總目提要等があり、本朝では日本國見在書目録から、本朝書籍目録・廣益書籍大目録・和板書籍考・群書一覽・諸家著述目録・國書解題・漢籍解題等が續出して、讀書家の研究心を唆るやうになつた。然し、それは、内外典籍の總目録で、學究一般の便宜に資する所多いが、未だ一郷一縣の地方に於ける郷土書目の選輯を企てた者あることを聞かぬのは、近年我が國に勃興した郷土研究上の一大缺典といはねばならぬ。

私は公退の餘暇、我が郷土研究に指を染めてから、時々研究題目を選んで、参考圖書を涉獵すると、年一年其資料の得がたいのに困難するので、これは、郷土書目を選輯して、同好者有無相通することが、彼我の便宜であると思ひつき、一部の稿本又は書名のみでも發見する毎に、之を収録して置いたものが、既に八百七十九種に上つた。此等の文獻は、いづれも、我が郷土の先賢が創作又筆寫されたもので、既刊本は既に絶版になり、又手記

稿本や殘簡零墨は各々其所藏者を搜索して、閲覽せねばならぬ不便がある。

我が郷土研究を試みた私は、始終此不便を痛感して居る一人で、自ら僭越を顧みず、先づ私の多年選輯して置いた備忘録「若越研究書目」を印行して、先覺者の指教を乞ひ、後日更に之を増補することにした。此備忘録は、國書解題・群書一覽・續群書一覽・家藏日本地誌目録・向續篇・明治文獻目録・縣内各圖書館目録・各學校文庫・福井圖書館目録・同郷土資料出品目録・武生史料出品目録・柳廼社出品目録・各郡村誌引用書目・各種著述目録・松平家文庫・土肥書籍目録・其他私人藏書等から選輯したものである。書名のみで現存せぬ圖書、現存しても一覽することのできないもの、作者・冊數・所藏者・刊行年月の分らぬものも、猶其書名を収録して後日の發見を期することにした。

かうして、各地方に於て郷土書目が續出したなら、たゞ郷土研究者當面の渴望を慰めるばかりではない、併せて、古來、支那・本朝に於ける文獻の不備を補うて、一般研究者にも郷土研究者にも頗る便宜であること信ずる。幸に郷土資料を珍製される方は、せめて、「門外不出」の看板を撤去して、篤志家に其秘閣の一瞥を許可されたなら、久しく埋没した資料を發見して、從來史乘の缺を補ひ、或は定論を覆すこともあらむかと期待して居るのである。(昭和五年初秋の小雨殘炎を洗ふ福井客窓にて)

追記

昭和五年、「若越研究書目」を選輯してから既に四星霜を経た。其間宮内省圖書寮帝國圖書館を始め、京阪・神・金澤・高岡・名古屋等の各圖書館を巡覽し、又先覺者から指教された圖書等、苟も郷土に關係あるものは細大洩らさじと、常に甚深の注意をして來た結果、今日までに更に約八百種を収録することを得たので、前後合計千六百三十七種に上つた。因て此機會に既刊の書目を増訂して、「福井縣郷土書目」と改題し、聊か郷土研究者の便宜を圖り、更に其集大成を後日に期することにした。

此書目は全然編者個人の選輯であるが、時偶々本館創立二十五周年に相當するを以て、之を共記念として編者の從事する本館に提供したところ、其印刷費は篤志家が寄附されたので、廣く同好者に配布することができた。但し誤謬・遺漏等は一切編者の責任であることを諒承されたい。(昭和九年初春サボン花咲く福井圖書館の書窓にて)

咬菜學人 石橋重吉識

例言

- 一 書目の分類は、大體一般の法則に従うたが、紙数の制限上、書名索引・著者索引を省略し、同一の書目を一々關係部門に重出せず、又全集・叢書類にあらざるも、作家の著書多きものは、之を一纏めにした。
- 一 書目の下の空欄は、大抵未詳又は編者未見の書である。
- 一 書目の冊數・年代は、刊本・寫本・和洋本各一定してないから、編者の一見したものに從うた。特に寫本類は轉寫が多く、最初の筆者不詳なるも、奥書のあるものは特記して置いた。
- 一 書目の内容は、大略推察されるもの多きも、まゝ解説を加へたものもある。
- 一 所藏者數人あるも、圖書館本は公衆閱覽の便宜があるから、福井圖書館本には○印を付け、其他のものは大抵之を省略した。

福井縣郷土書目

石橋重吉編



書名	冊數	編者	刊行年	備考
○明道館書目	五	元福井藩明道館		經子史集其他洋學所、濟世館、兵科局、大砲局、算科局、外塾等の書目を收む。
明治五年博覽會陳列品目錄	一	足羽郡下博覽會社		
松平家所藏時事叢書總目錄	寫三	佐々木千尋		東大圖書館藏
松平家藏書目錄	一	松平家		
武生史料出品目錄	一	同展覽會	明治四四	

參考目錄

俳諧書籍目録	三	阿 誰 軒	元祿一五、井筒屋板俳書五百五十三種を 收む。
同 拾 遺	二	阿 誰 軒 編	新群書類從書目之部にあり、拾遺を加へ 七百五十四冊を收む。又大正一三刊行石 川殿校訂の和装本一冊あり。
○群 書 一 覽	六	尾 崎 雅 嘉	享和二
○續 群 書 一 覽	一	西 村 兼 文	大正一五
○家藏日本地誌目録	一	高 木 利 太	昭和二、若狭越前の部参照。
○同 續篇	一	同	同五、同上。
加越能古俳書解題	一	石川縣圖書館協會	同五
加越能書籍集覽	一	同	同六
○日本英語學書志	一	荒 木 伊 兵 衛	同六
○ ^{増訂} 國 書 解 題	二	佐 村 八 郎	同六、卷尾に著者索引、書目索引、叢書 目録を附す。
○明治文獻目録	一	高 市 慶 雄	同七
○國學者著述一覽	一	關 書 院	同七

台 覽 遺 墨 目 録	一	福 井 縣	大正二三
○柳廼社神德記念展覽會出品目録	一	同 展 覽 會	同二四
○福井圖書館和漢圖書目録	一	福 井 圖 書 館	同二四末調
白山神社寶物目録	一	白 山 神 社	同二五
並平泉寺寶物目録	一	酒 井 井 家	昭和二
酒井忠勝公遺物品目録	一	福井商品陳列所	昭和二
風俗博覽會陳列品目録	二	景 岳 會	同 三
福本左内先生七十年祭 記念展覽會出品目録	一	福 井 圖 書 館	同 三、四郷土資料、同五越前若狭維新 史料、同六明治大正新體詩歌書、同七橋 曙覽遺墨の各目録。
○郷土資料展覽會出品目録	五	福 井 圖 書 館	同六、各科目に關する圖表、圖書其他の 目録を收む。
郷土研究資料一覽	一	鯖 江 女 師	同七
○若越研究書目	一	石 橋 重 吉	同八、大演習天覽品三千八百四十二種を 同八、大演習天覽品千百廿点。
山下藏書目録	一	山 下 春 溪	同九、創立二十五周年記念、 石橋重吉編。
生 物 目 録	一	福 井 縣	同九、創立二十五周年記念。
學 藝 品 目 録	一	同 福 井 圖 書 館	同九、創立二十五周年記念。
○福井縣郷土書目	一	同	同九、創立二十五周年記念。
○ ^{越前並} 一般古今俳書展覽會出品目録	一	同	同九、創立二十五周年記念。

中島圖書館古俳書藏目
宮内省圖書寮目錄
帝國圖書館目錄
京都府立圖書館目錄
大阪府立圖書館目錄
其他神戸、名古屋、金澤等各圖書館目錄

道 德

倫理學一斑
○日本倫理要論
○日本國道論
善行錄
勅語通
○商人道
○新商人道

石橋重吉 明治三六
有馬祐政 同三六、同四二、同四〇
同
福井縣 同四二
瓜生寅 大正元
有馬祐政 同七
同
同三

富山縣津澤町 同七、開館記念。

神道 宗教

大正德行錄
○日本精神發展の段階
武士道の復活

宮内省 同四五
平泉 昭和三
平泉 同八

神道

越前國總神分
越前國敦賀氣比大明神正遷宮一會
氣比俗談
角鹿氣比宮萬記
○足羽社畧緣起
越前國式社地名考
越前敦賀郡官社私考
氣比宮社記

嶋計富 元祿一四、敦賀叢書卷中の内。
足羽敬明 享保二
同
伴信友 寶曆一、辛巳十一月朔日の自跋あり。
平松周家

神祇全書第五輯の内。

慶長一九、宮内省圖書寮藏。

元祿一四、敦賀叢書卷中の内。

眞學立知寫一

井上翼章

寛政二、我が神道の源流を説明せるもの。

○眞學大意寫一

同

同四壬子初秋とあり。

越前國官社考五

岡野吉孝

國史神名考五

梅田高起

池田總社須波阿津疑神社辨論自筆本一

同

天保一一、延喜式の社名須波阿津疑神社の阿須の須は津字の誤なることを辨證したる口上書。

金崎宮御畧傳一

松尾忠吉

明治二六

官幣中社金崎宮一

社務所

舟津神社御由緒書一

橋本政修

白山神社三十三記念帖一

平泉寺

劔神社文書一

山田秋甫

大正三

劔神社御事歴書一

同

今立郡神社誌一

同

○越知神社文書一

同

部子神社略縁記一

部子山復興會

同二

○越前縣社白山神社由緒略記

平泉恰合

同二五

敦賀郡神社誌一

石井左近

昭和八

○若狹國神名帳一

續群書類從神祇部第六二の内。

若狹國神名帳私考三

伴信友

文政六稿

若狹國一宮御縁記並考證六

小野村胤信

明治三〇

福井縣宗教家及神職名鑑一

境間電

大正二三

中世に於ける社寺と社會との關係一

平泉澄

同二五

佛教

道元禪師全集一

大久保道舟

昭和五、二祖六百五十回忌記念。

第一輯 普勸坐禪儀一

正法眼藏 九五

正法眼藏佛肉上事 一

學道用心集 一

永平廣錄 一〇

第二輯 佛祖正傳菩薩戒作法一

永平祖師得度畧可法一

教授戒文 一

嗣書一 理觀に授けられたる戒脈一 覺心に授けられたる戒脈一

永平室中開書一

第三輯

永平清規 二 佛前齋粥供養侍僧事一

庫院に示されたる制規條々一

永平寺住侶に誠められたる制規條々一

第四輯

寶慶記 一 正法眼藏隨聞記 六

舍利相傳記 一

普勸坐禪儀撰述由來一 明全和尚戒牒奥書一

了然道者に示されたる法語一

羅漢現瑞記 一 其他九種

第五輯

牽松祖師道詠一

附錄永平開山道元大和尚假名法語一 其他十四種

○加州石川郡白山緣起 寫一

僧 泰 澄

神龜元記述、續群書類從神祇部第七四の内。

○正法眼藏隨聞記 三

懷 奘 禪 師 寬文一〇

常濟大師觀音靈生記 一

續群書類從釋家部第七九一の内、延寶三

○羽賀寺緣起 寫一

同 當別大谷寺

○同 增補別本 一

越知山大權現緣起 一

佛說阿彌陀經弊帚錄 三

平 乘 慧 鑑 延享三

若州永福和尚說戒 二

戒徒慧恩等記 寶曆九仲冬、曹洞宗全書禪戒の内。

永福面山廣錄 二六

僧 瑞 芳 安永六、瑞芳字面山、小濱空印寺住。

○遺 行 錄 寫一

伊 東 祐 程 文化六、佐野允の序あり、越前碑文集。

選 擇 集 講 義 五

香 月 院 深 勵 明治一九

草 堂 雜 錄 寫

同 和 津 紹 龍 柱 造

香 月 院 語 錄 一

和 津 紹 龍 柱 造

淨土真宗名目圖 一

釋 峽 諦 角鹿本妙寺住。

○和 語 陰 隲 錄 一

明 袁 了 凡 原 譯 著 明治一四、眞宗の掟を假名文に開書したるもの。

眞宗 蓮 如 上 人 九十箇條

蓮 如 上 人 明治一四、眞宗の掟を假名文に開書したるもの。

掟心得 蓮 如 上 人 九十箇條

王 法 爲 本 論 一

織 田 得 能 同三一

○法 華 經 講 義 一

同 同三一

經 論 要 文 集 二

木 津 祐 桓 同三六

承陽大師御畧傳及御和讃 一

諏 訪 周 禪 同四一

永 平 寺 概 要 一

永 平 寺 同四二

眞宗 車 の 道 場 考 一 同
 祖蹟
 ○基督時代のユダヤ教 一 大 昌 清 昭和八

語 學

言 語 辭 書

義門法師著書目錄 小濱妙玄寺住

類聚俗雅言	寫一	文化二一	友鏡一名詞遣友鏡	一折	文政六初版。天保一三再版。
友鏡底廻影	寫二		於乎輕重義	寫二	文政二〇
山口栞	三	天保七	活語指南	二	同二二
活語餘論	寫三	同二三	活語雜話	三	第一篇は天保二〇 第二篇は同三一 第三篇は同三三
和語說畧圖	一折	同二三	和語說畧圖開書	寫四	同二〇
和譜語路轍			玉緒線分	五	同二二

奈萬之奈	三	同二三	磯清水	一	文化一一
磯の洲崎	一	天保一四	指出の磯	一	同二四、此二卷合本もあり。
三部經和語說	五	第一卷三本明治一一 刊、第二卷以下寫本。	内外胎教畧	一	天保二二
富士百首	一		日本魂	一	天保二四
蹤間之日記	二	文政六	袖濡廻日記	一	
覆甕錄	一		御文講說	一	
終年日並歌	一		假名遣千世之古道	一	
假名聖教和語說	一		尊號眞像銘文講說	二	天保一〇講義
唯信鈔講說	二	文政九講義	語辞林香記	一	天保一一講義、大正三刊。
語路轍生論	二		末代無智御文和語說	一	天保一三講義
畧圖講解	二		月草	一	
改邪鈔遠測	一	文化一一講義、大正三刊。			
字 義訓			松村九山		
音 韻新書	一		伊藤多羅		
荷蘭語林集解			杉田立卿		安政三

○和蘭語學原始	一	福井藩	同三丙辰季秋翻刻、一八四四年版、和紙和裝廿四葉本、各葉分刻者の名あり、越前國校藏版。
○増補譯 改正譯	五	廣田憲寬	關語と邦語を對譯し、譯鍵と題せる寛政八年版の字書を和蘭字彙に據りて補正したるもの、安政四年三月、大野藩廣田憲寬藏梓。
英吉利文典	一	大野藩	同四夏、大野文庫翻刻、原書は曆一八二二年出版、一八四二年再版、同年關語に譯したるもの、土井家藏。
熟語類聚	九	宮澤獨慎庵	稿本、續田養浩の序あり。
呼注和英對譯辭書	一	足羽縣學校	明治五年壬申三月刊、文部省准刻書目にあり。
英單語通篇	一	石川縣學校	同五年壬申三月刊、同上。
官單語指南	一	芳賀真咲	同六、越前千秋與八梓。
魁本大字類苑	一	谷口松軒	明治二一、男谷口安定の序言あり。
○音樂辭典	一	吉田恒三	大正一二
○訂佛敎大辭典	一	織田得能	昭和四
○五經文字箋	正	岡井慎吾	大正一五、上海商務印書館開板。
○九經字樣箋	正		

○玉篇の研究 一同

昭和八、東洋文庫論叢第一九、著者の學位論文。

方言民謡

○若越方言集	一	福田太郎	明治三五
福井縣方言	一	太田榮太郎	
○福井縣方言調	一	同聯合教育研究會	昭和六
福井縣方言集	一	福井師範學校	同六
俗耳坂井郡方言集	一	島崎圭一	同七
○福井の方言	一	徳山國三郎	同七
福井縣民謡集	一	鯖江女師	
北陸郷土民謡集	一	村上陽岳	

文學

國文和歌

木下勝俊著書目録

字大藏、長嘯子又舉白と號す、少將若狹守、和歌を善くす、秀吉の臣。

うなひ松一卷

舉白集(歌文集)十卷

舉白集雜々一卷

戀の歌合二卷

若狹少將勝俊朝臣集一卷

伴信友著書目録

伴信友全集

五國書刊行會

明治四〇、原本四十一種百二卷を收む。○印は單行本あり。

第一冊 神名帳考證一四 神名帳考證土代附考

第二冊 伴信友翁傳、略年譜 神社私考六 顯見小河四 驗の杉一 ○八幡考一 審神考一 ○正卜考三 中臣祓詞要解一 神聖三辨一 大刀契考一 ○銅魂傳一 長谷寺多寶塔銘文 長谷寺緣起剝偽一 上野國三碑考一

第三冊 竹榮經抄一 宇知都志麻並餘言一 ○高橋氏文考注一 松の禊廟並附錄一 ○殘櫻記二 荒山大捷之碑記事一 ○中外釋緯傳草稿六 ○假名の本末二 應隆考一

第四冊 ○比古婆衣二〇 長等の山風二 長等の山風附錄四

第五冊 寶鏡秘考一 附日考 倭姬命世記考一 佛神論一 附島山遊考 方術源論二 一名方術考說 周易私論二 一名易占辨 論鬼神新論草稿一 ○若狹舊事考一 弓矢古義推考一 麻々伎考一 兩考補證一 神樂歌考一 古詠考一 表章伊勢日記附證一 動植名彙一〇

其他既刊又は未刊の著書 國學者著述一覽に據る

赤穂義士流芳九	逸諸國内外帳	越前敦賀郡官私考一	皇居避災抄出入	檢天治萬葉集	古事談彙引	古文異體字彙	古本東遊風俗歌疑問	參考姓名錄鈔一	史籍年表一	獸肉壇湯考一	新撰字鏡索引	神名帳標目私考附錄	姓氏錄同祖索引	增加金石遺文	大神宮儀式帳索引	長閑	日本靈異記索引一	肥前風土記略註
安齋隨筆索引	逸文風土記一	神樂備馬樂私論一	國造本紀考證	古器圖說考	續古事談彙引	古文書集二〇	古本神樂歌疑問	三神器故實秘抄一	社記勘錄	詔詞解索引	神人辨說	鈴屋翁略年譜附字道要語一	姓氏序考小補	華同儀考小補	大同帝本紀	南山巡符錄小補	白妙	常陸風土記註小補
醫心方中訓抄	出雲風土記註小補	加佐々伎考一	槐諸考案	古史傳異年號考一	語彙古唱集一	古文物小集二	五倫教大意	三鏡考	射實私論一	職人歌合部集	神名帳索引	勢河名義稿	續愚管抄	玉勝間學ノコトクサ	饒速日命傳	八所御靈考一	武器考證小補	
伊勢物語由來考	陰陽根名彙	皇居避災例一	言語轉化論	古事佚傳考一	古物圖彙	古墓誌集一	催馬樂解疑問	式外神社考	集斯鬼寶考	神社古縁起類集一	神名帳標目私考證錄一	成語推格	前王廟陵記訂補	續修國史姓名抄一四	稚田系	波天理和謝集	藤垣内翁答問錄	

筆の落葉 風土記逸文略註 豊後風土記註小補 信友隨筆三
 藤譯名義集索引 眞卷弓柄考一 萬葉集索引 源順家馬毛歌合註一
 武藏國阿伎留神社古物考 遊幾呂考 遊古世五 類聚三代格索引
 類聚名義抄校本附錄一 類聚名義抄字訓索引一 若狹國神階記一 若狹志小補
 和氣系圖私考 和氣系圖附考一 和訓 栗餘 和名抄國郡考證一
 鷗鷗嘲語例一 (古學小傳、慶長以來諸家著述目錄、國學者傳記集成)

○鎮魂傳

鎮魂祭儀類 鎮魂考證 附錄一 美多萬布由 又美多萬布利といふ事の考
 附錄二 鎮魂祭附齋戸祭 招魂祭 宇知都志麻 宇知都志麻餘言

○伴信友家集

伴信友家集 彌富破摩雄 同七 伴信友翁小傳
 伴信友家集 滿壽子詠草 交友名簿

伴信友近著書目録

續紹運錄 雲濱遺事 要鑑抄(兵學書) 机邊雜錄(隨筆)
 信近歌集

芳賀矢一著書目録

國學者著述一覽に據る
 假名遣送假名早はかり一月 雪花一 現代文範一 現代文典二
 言泉五(落合直文原著) 國文學歴史代選二 國文學史十講一 國文學史文例類纂二
 國文典初步一 國民性十論一 國民道德教科書五 國語文典大要

皇國文典二 古典經緯一口譯 御文章一 考證今昔物語集三
 新定中學讀本一〇 新定女子讀本八 新式座右年表一 新式辭典一
 女子新文典二 師範國文八 詞藻類纂一 戰爭と國民性一
 聖代讀本二 世界文學者年表一 世界一週一 大禮と國民一
 中古文典一 帝國史要二 帝國讀本一〇 帝國新讀本一〇
 帝國新文典二 東海道五十三次一 日本年表一 乃木大將一
 日本趣味十種一 日本唱歌一 年中行事一 奉悼歌一
 筆のまにく一 筆にまかせて一文學者年表一 (芳賀博士著書目録)

○橋路覽全集

墓碣銘 志濃夫猶舍歌集 藥屋詠草
 藥屋文集 沽哉集 齋薫 園墟裡譚
 花廻櫻

○若越愛吟愛誦集

石橋重吉 昭和四、和歌の巻、文章の巻。
 飛鳥井雅縁 應永二七の奥書あり、續群書類從和歌部
 一名千題和歌集 第三七七の内。

○若狹少將勝俊朝臣集

著者の詠歌數百首を收む、續群書類從和歌部第七八の内。
 永祿十一年五月十七日御成、群書類從武家第四〇九の内。

○一乘谷曲水宴詩歌
 ○一乘谷南陽寺遊宴歌
 ○松 蟲の音
 一名越路百人一首
 ○故郷百首
 松の下の葉
 松亭詩歌全集淺みどり
 千尋詠草
 尚古齋歌集
 初今音歌集
 古船歌集
 御船歌集
 東溟歌集稿本
 わがたつ
 百詠詩集
 釣月詠草

藤原信夫女
 伴信友
 山室松軒
 高田保淨
 岡部千尋
 佐藤硯湖
 勝澤青牛
 片山良庵
 證誠寺東溟
 本向寺本照
 平乘寺住職
 本多釣月

永祿五年九月廿一日、續群書類從和歌部
 第四二二又朝會記の内。
 永祿十一年三月廿五日、朝會記の内。
 安永五、天明九、天保五、大正一五の各
 寫本あり。
 伴信友家集の内。

複寫本は鯖江女師藏。

花月三十六首
 能登の海
 郭公百首
 越櫻路草
 小櫻軒詠草
 寬隆家集
 ○百首和歌集
 小倉百首歌私語
 ○深山木
 白雪和歌集
 ○越前名所しるべ草
 ○野邊のさわらび
 旅の百葉
 白嶺新百首
 ○志濃夫廼舍歌集

内田耕齋
 同同
 鈴木主税
 鸞田寛隆
 馬淵亨庵
 岡田輔幹
 同
 同
 千福寺祐可
 布川正沖
 狩野竹鞆
 橋野曙覽

歌集、立平文庫。

享保

文化一五

大野郡の名勝を古體の和歌に詠じ和文の
 解を加へたるもの。
 文政六、井上翼章並同好の和歌集録を筆
 寫したるもの。

同五妻木直序、祐可自序、天保一〇高野
 價齋跋。

水戸浪士の絶命吟詠。

明治七、上京の紀行文、春嶽公序、鯖江
 女師藏。

同九

同一一

○古稀 ○記念	金 玉	集	小林 英俊	同二
○八	雲	集	益 永 一	同三
○八	芹	集	福 井 縣	同三、皇太子(今上天皇)行啓の際台覽に供したる風雅集。
○二	静 遺 稿	抄	山 口 透	同三、妻静緒、女小静の遺稿抄。
橋曙覽五十年祭並 井手今滋五年祭	歌	集	植 松 壽 樹	同六
橋 曙 覽 歌	集	正 岡 子 規	藤 井 乙 男	同五、新釋和歌叢書第七篇。 現代日本文學全書正岡子規集の内。
○橋 曙 覽 の 歌 評	集	藤 井 乙 男	鳥 崎 圭 一	同五
校注	曙 覽 歌 集	集	同	同六
○類題	曙 覽 短 歌 全 集	集	釋 迢 空	同九、和歌の評釋。
○同	拾 遺 篇	集	井 上 一	同二
○曙 覽 の 研 究	帖	集	同	同二
○秋 聲 窓 詠 草	抄	集	同	同三
○秋 聲 窓 詠 草	抄	集	同	同三

校注	十六夜日記	集	鳥野 幸次	同三
○還曆 ○記念	玉 作	集	山本甚右衛門	同三
歌 叢	林	集	和田 轟 一	同四
歌 珠	貝	集	福井短歌會	同五
關邸子 刀自 追	悼	集	關 義 壽	同五、武生圖書館藏。
○芳野菅子歌	集	集	鳥崎 圭 一	同六、福井病院長小出伊勢治夫人の生母、芳野金陵先生の長女、春嶽公の奥老女、橋曙覽に師事す。
○羽城井上先	集	集	還曆祝賀會	同七
○宜 南	峯	集	井 上 一	同七、編者還曆記念の詩歌俳句集。
笛	集	集	川 端 深	同八、編者が同窓大村益雄の歌集を謄寫したるもの。

狂歌 謠曲 雜曲

一名今人狂歌五十八一首

山本輪田丸

文化九、表題の上、南越五十八一首とあり、書は敦賀の内海元孝筆、明治年間の刊本は鱒江女師藏。

江越狂歌一人一首
輪田丸遺稿
飛登里笑寫
雁返里集
柿谷半月集
掃溜半集
狂歌春秋集
謠曲拾葉抄
萬歲福井町づくし
良おはヤ萬歳
越前まんざい
○越前萬歳考
○蓮如上人子守歌
○傾城歌三味線

同刊行會
武島隨志
柿谷半月
山本元
桃隣舍文辰
越府竹生連
犬井貞恕
惠南加筆
近八郎右衛門
山下與平
運如上人
安藤其蹟
江島其蹟

畫は近江の部は一圓房、敦賀の部は中村西溪、江越七十四人の狂歌を收む。昭和九

未刊
明治四四
狂歌集、奥書に文政六未年とあり。
弘化二、武牛及附近の狂歌集、春之部は浪速鶴屋梅好の選、秋之部は竹生園卜長選、梅好の序、卜長の跋あり。
明和九、觀世流謠曲百一番の注釋、寛保元年空華庵必録七十二翁誌とあり。

明治一九、金澤より北國下道中。昭和六

遊京漫録二（日本隨筆大成第二期第九卷）にあり。
享保一七、洒落本第二朝里鶴風語の内、三國出村の情話を收む。

連歌 俳諧

蠅打五 犬井貞恕
玉江草五 柴垣卜琴
越路草四 同
獨言四 同
新玉海集七 犬井貞恕
俳諧氣比の海一
若狹千句一
世の千柳句一
阿知千句一
枯野塚一

寛文四、安原貞室が門人の名にて自著正章千句の批難に對する辨駁書、帝國圖書館藏。
延寶五、附句一冊、四季四冊、府中百三人、編居七十六人、其他四十三人の句集、總句數千三百句、東大圖書館藏、撰者は府中人。
主として越前の發句を四季に撰集したるもの、出版年次不詳。
阿誰軒「俳諧書籍目錄」に出づ。
延寶七、師安原貞室の玉海集にならひし發句集。
元祿五仲秋の序あり、敦賀についての諸國人の句の撰集、氣比兩社に奉納したるもの。
同六、池西言水の跋あり。
同一六、水音は新保浦の俳僧、大聖寺、府中、福井三國の歌仙六卷と水音の各佛魚辨、後宴序と歌仙一卷を收む。
元祿中の編なるべし、著者の俳諧千句集。寶永二

木曾の谷 杉丸の太 俳日和 菊の十歌 初便蟬集 和集 俳四幅 文月往 八鳥來對 諸俳築 浦藻橋 浦花の笠 卯花の笠 柳華園東吾

同 同 岸名昨囊 石川伯兔 竹田野坡 同 伊吹東怒 上阪嵐枝 竹田野坡 天井章吹 廬元坊 柳華園東吾

同二、野坡岱水の兩吟あり、俳書集覽卷五の内。
同二、蕉門珍書百種の内。
同四、三須連中の俳諧と日和山十題の句、支考の硯の記を收む。
正徳五、伯兔が菊の句を發句として昨囊、挑妖、宇中等と唱和せる歌仙十巻と諸國文通の句を收む。
享保二、阿誰軒「俳諧書籍目録」に出づ。
同二、同上
同四
同二
同四、芭蕉卅三回忌追悼集。阿誰軒「俳諧書籍目録」に出づ。
同一三年七月自序、晴江僧暮琴鼓、草吹、六枳、女鼓、遠邊等と唱和したる歌仙と加越の句を收む。
享保一九、廬元坊四ヶ浦行脚の時の集。
同二〇、福井行脚の俳諧集。
同二〇、敦賀獅子門元祖伊吹東怒の追悼集。

黒鶴集 檜木笠 明石の六行會 俳諧石碑六行會 草の道 森の秋 〇俳諧いつか月 花ののづ 雪のしづ 雪のしづ 雪のしづ 野坡吟 白鳥集 其葉 其月

松平玄駈 白羽觀 天井章吹 竹田野坡 同 勝山連中 蘭々舎一色坊 一点舎孤荳 山室山流 一点舎孤荳 風之 錦溪舎琴路 青々觀可兮

元文二、大峯山參詣の俳日記、有底老人の跋あり。
元文二、京阪須磨明石への行脚記。
同三、阿誰軒「俳諧書籍目録」に出づ。
出板年次不詳、同上。
同四、勝山の曲浦と福井の章吹が平泉寺に遊びし時の俳諧集。
延享元、天井章吹の追悼集。
寶曆元、府中獅子門初代百花臺嵐枝の初七日、二十七日、四十七日、五十七日、六十七日、七十七日の歌仙其他の追悼集。
同六
同七序、府中獅子門初代百花臺嵐枝七回忌追悼集。
同九、先師の句九百卅餘吟を收む。
同二一、金前寺鐘塚建立の供養集。
明和四、上阪嵐枝十七回忌追悼集。
同七、柴田巴角三周忌追悼集。

ゆめの葉櫻
 ○あぢま野櫻
 俳諧櫻佛
 白霽園文集
 詳松の瓢
 ○炭瓢集
 不炭瓢集
 鳥のかたみ集
 ○杖のゆか賀り
 霜のちの葉
 ○合類俳諧忘貝
 元の水
 三友
 越府

鶯亭甫紅
 同
 雙溪樓吐龍
 白霽園鷹化
 天井章靜
 澤崎五圭
 玉淵居松軒
 松岡社中
 三田村花曉
 白梅窓
 淡水亭伸也
 同
 淡水亭社中
 幽岳亭等仙

同三初夏序、府中獅子門四代百練舎五
 中一周忌追悼集。
 文政四、府中に因みある美濃宗匠等の句
 を收む。
 同五蒼虬序、一道舎貫庵一周忌追編集、
 撰者は若州人。
 同六一、福井藩春曉閑只靜還曆祝集。
 天保四、天井章吹百回忌追悼集。
 同九、友左坊三代五圭の文藝開集。
 同序、府中獅子門五代鶯亭甫紅一周忌、
 同し代鶯庵用翠十七回忌追悼集、
 同五一、芭蕉建立供養集。
 弘化三、大瀧三山村泉齋舎六十賀集。
 同、竹醉園菰齋七回忌追悼集、皎月舎其
 睡の序あり。
 同四年七月自序、美濃派の金馬徳松雨の
 季寄「俳諧二見貝」の増補。
 嘉永二、福井獅子門五代對剛齋双巴坊卅
 三回忌追悼集。
 同六、福井獅子門九代淡水亭伸也古稀賀
 集。同六

府中笠の友
 行脚梅塚
 紅梅
 中國句奉加
 花の野塚
 歳のすさび
 月のの面影
 獅子門遺統
 兩宗匠當越經回集
 俳諧華籠
 ○硯の篋
 嵐外發句集
 ひとつ雁
 勝山二統社發會記
 いとや木集
 かねの聲

平生舎此閑
 同
 同
 社中
 同
 同
 同
 平生舎此閑
 同
 皎月舎其睡
 辻嵐外
 金毛窟香夢
 平生舎此閑
 同
 若思園古岑

安政二、府中行脚記。
 同六、塚建立の供養集。
 同六年正月此閑の福井、府中、粟田部、味
 眞野等遊歴の紀行。
 同四、福井獅子門十代皎月舎其睡生墳供
 養集。
 萬延元、村國獅子門初代飄堂還曆賀集。
 文久元、村國獅子門初代古鷹庵里冥小祥
 忌追悼集。
 美濃獅子門十五世春香園が文久二、全十
 六世竹旭廬が明治三に勝山に來遊せし時
 の俳諧集。
 中に勝山文豪濫觴記、靈隱山櫻塚集あり。
 慶應二、福井獅子門九代圓意坊七回忌追
 悼集。
 明治二、帝國圖書館藏。
 同九、福井獅子門九代圓意坊十七回忌追
 悼集。
 同一年二月十日記とあり。
 同十一夏筆濃關西行脚記。
 同十四古夢序、福井獅子門十代皎月舎其
 睡三回忌追悼集。

道	の	花	同	同二、祖翁二百回忌、福井獅子門初代馬童仙百五回忌、同十一代香夢十三回忌取越供養集。
松	の	かげ	聽秋庵一井	同三二、三國獅子門八代松々廣甫隆百回忌追悼集。
山	さくら(山斜九羅)		靜觀舍有峯	同三四、三國獅子門十五代此水觀娛水壽碑建立實集。
氣	比のさゝ	波	安田九四郎	同三五
夏	の	月	平生舍青巖	同三八、勝山獅子門八代平生舍此閑一周忌追悼集。
花	の	かたみ	松蔭舍其流	同四〇、福井獅子門十二代若思園湖心七霜忌附三士追悼集。
み	や	こ	聽秋庵一井	同四四、三國獅子門八代一井の東都行脚記並月雪花集。
〇常	磐	能佳	井關美清	大正元
千	代	の	佐々木吉兵衛	同三
越	府露に浮	世	武生越之華會	同二〇、風香庵梅仙宗匠壽碑記念號。
〇芭蕉翁	正統俳系一	覽	長尾等也	同四
校注	奥の細	道	武生蓮二社	同四五
〇島龜	昔翁遺	稿	鳥野幸次	同四五
			島信次	昭和三

〇若越	愛吟	愛誦	集	石橋重吉	同四、越前俳諧俳文の巻。
落	葉	集	山田芦水	同六、著者の俳句遺稿 武生圖書館藏。	
一	陽	帖	小泉六右衛門	同七、今立郡國高村村國俳諧の沿革を敍したるもの。	
越前	俳人	哥	石橋重吉	同八、豊田屋哥川の傳記と俳句海の音楽を収む。	
三國	俳諧	の	同	同九	
越前	俳諧	の	同	同九	
		研究			
				稿本一	

越前關係俳書

續	連	珠	七	北村季吟	延寶四、東大圖書館藏。貞門最後の俳諧集。越前五十六人あり。
〇日	本行	脚文	集	大淀三千風	元祿三、俳諧文庫第二四篇の内、若越通過の記事あり。
卯	辰	辰	集	立花北枝	同四
〇摩	詰菴	入日	記	吉井雲鈴	同二三、旅日記、越前通過の記事あり。俳諧文庫第二四篇の内。
東	西	夜	話	各務支考	同四五、三越路行脚、越前通過の記事あり。

○夜話くるひ	一	北花坊宇中
草刈笛	三	各務支考
春鹿集	二	孤耕庵魯九
山中三笑	一	各務支考
北國曲	七	澤露川
○和漢文藻	七	各務支考
三千化	四	同
○桃の首途	三	仙石廬元坊
俳諧歌まくら	一	風草
三物拾遺	三	仙石廬元坊
○文星觀	一	同

同十六篇月自序、元祿一四年夏支考北國行脚の折東西夜話に洩れたるを補ひしもの。舊門珍書百種第一八篇の内。
 寶永元、俳句集、越前各地の句あり。俳書大系卷三の内。
 同三、越前各地の句あり。
 正徳元、帝國圖書館藏。
 享保七、名占屋の露川と伊勢の櫻燕説が北國行脚の紀行文、卷三越前曲、卷五、敦賀、府中、福井、三國等の記事あり、俳書大系篇外の内。
 同八の自序あり、此書金澤にて撰集、越前人の俳文あり、有朋堂文庫の内。
 同十一、菅原三司忌句集、越前各地の歌仙と追悼句を収む。俳諧文庫第八篇の内。
 同十二、三越路行脚句集。俳諧文庫第二四篇の内。
 同十三連二序、越前各地の句あり、岐阜師範校藏。
 同十五、越前各地の三物と名録あり。
 同十七、赤間關にて先師支考の百ヶ日法會句集。越前の俳諧あり。

日記紀行

○渭江話	四	同
○三顔合	一	夕顔庵
百里鶯	八	安田以哉坊
手折菊	四	一字庵菊舍尼
秋風墳集	一	春香園
加越俳諧史	一	西村燕々

同二二、支考七回忌取越法會、越前各地の歌仙六句表あり。
 元文五自序、越前各地の句あり。
 明和五、諸國行脚記、第一卷に越前各地の歌仙十三卷を収む。岐阜師範校藏。
 文化九、旅日記、福井金津の風交記事あり。
 文久二、はせを翁の句「義とものこゝろに似たり秋の風」塚集、越前各地の句を収む、岐阜師範校藏。
 昭和八、俳句講座第一〇卷の内。

○宋雅道すがらの記	一	飛鳥井雅縁
二十四輩記	七	竹内壽庵
二十四輩順拜圖會	一〇	河内專了寺

續々群書類從地理部第二の内、應永三四、京より越前へ社參の事紀行。水無瀬殿御奉納百首和歌附本は帝國圖書館藏。
 享保一六、同行五人、眞宗全書第六五冊の内。
 享和三、親鸞聖人の行化舊蹟の縁起、通俗繪入にしたるもの、竹原春泉齋藏。

丸岡の俳諧者、吉野巡り自筆本（明和二稿）を活字本としたるもの。

○蓑笠庵梨一
大佛寺詣記 寫
辛崎詣の記 寫
西北紀行 二
天橋遊草 一
若狹紀行 寫一

笹岡芳名
慶松友梅
同
貝原益軒
三田村栗所
十叟舍
柿谷半月
同
妻木陸叟
鳥翠臺北丞
久保田見達
大郷信齋
廣如上人

○眞齋道中詩歌 寫一
天橋立道の記
○北國奇談巡杖記 五
北地日記 寫一

卷五若狹越前部の部、文化三丙寅の跋あり。
日本隨筆大成第二期卷九に收む。
文化七

遊囊賸記 寫二四
東越日記 記

同丙午菊秋上浣信齋識とあり、東海紀伊山陽九州京都大和日光伊香保等の紀行文、鶴江楷陰校本は序一冊其他十一、十二、十三缺本。
天保九稿、大正九本派本願寺發行。

蝦夷日記 一二
内山隆佐日記 寫一

内山隆佐
中根雪江
同
中根雪江
史籍雜纂第四の内。

茂昭公御日記 三
丁卯日記 二
戊辰日記 五

同
中根雪江
佐々木弘綱
釋宗演
瓜生寅
大柳榮治郎
石橋重吉
山田秋甫
同
同

○加越日記 一
○歐米雲水記 一
マルコポーロ紀行 一

小楠遺稿の内。
續帝國文庫の續々紀行文集の内、著者が明治一三信綱を伴ひ福井大野等に來遊せし紀行文。
同四〇
同四五

○南遊阻風雨記 一
○京都巡禮勢 一
○西京遊草 一

大正一〇、南紀の漢文遊記。
大正五
同四
同四

梅圃笑話寫
小楠遺稿

雜著(學校問答文武一途之說其他)

遊學雜志

詩類

甘蔗普熏
橫井時雄

建白類

遊學聞見書

中根雪江日錄探記

講義類

語類

文章類

恩師訪問の記

○獨語

○鴉軒遊戯

○女學校の窓から

手向草

山田秋甫

松平乘完

土肥慶藏

石橋重吉

林田直永

同六

同〇、西尾藩主、曾孫乘承刊。

昭和二

同三、「若き女性へ」、「咬菜餘談」を收む。

同六、長男格の追悼録。

漢文 漢詩

十三經通字

辨物解蔽

一紹梨一

三田村栗所

寛政七冬十二月弟好胤の序と寛政八春正月季弟成堅の序あり、本書は孔子家語の辨物篇と荀子の解蔽篇の體裁に倣ひし論文。

荀子辨解

史漢合評

○論語講義

論語注辨正

管仲孟子子論

讀經譚論

論語古訓餘義

藝園鉏莠

○歷史管見

論語賓說

春秋精義

論語精義

詩田雁門著書目錄

孝經通二 天保一一

周易通

左傳通

細霞堂藏版

學庸通

尙書通

春秋經文彙纂四 天保六

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

同

嘉永二、神惟孝の序と嘉永三年六月川村尙迪の序あり、歿後四十年男關谷の刊行。弘化四

文政二の序あり。

文化八、山本北山の著書を反駁したるもの、鯖江女師藏。支那歷代史中の抜書。

孟子通

毛詩通

○立 軒 存 稿

矢 鳥 立 軒 同 一八、著者の漢文集。

横 井 小 楠 文

同 二九

丹 羽 文 虎 先 生 文 集

大 正 四

○秋 聲 窓 文 鈔

同 四

○問 亭 遺 文

同 五

雲 濱 遺 文

昭 和 二

詩 禪 碑 文 集

同 六 桑韓唱和損箋卷一一の内。

○越前松岡講官前田葉庵

同

○韓客筆語(享保四年十月)

同

○奉呈韓客青泉申公五條

同

○同 韓 客 筆 語

同 卷七の内。

○葉 庵 筆 話

享保四年十一月六日浪華客館にて朝鮮學士、書記との筆話。

○寶 曆 贈 答 錄

一名寶曆甲申朝鮮人贈答錄、著者は府中人、浪華に住す、儒醫なり。

○邀 翠 館 集

天明五

○詩 稿 鈔 錄

寬延元

○千 秋 齋 稿 鈔

清 田 儼 叟 同元、諸體詩五十首誦書献上。

一 儼 叟 夜 淇 園 北 詠

一名限時百詠

○藝 苑 談 譜

同 日本詩話叢書第六卷の内。

○龍 川 詩 鈔

同 第九卷の内。

○自 怡 堂 詩 稿

同 寬政元

○北 海 詩 鈔

同 同七

垂 葭 詩 稿

同 明和四

蓋 薇 館 集

寶曆一三、男元澄編。

日 本 咏 物 詩 集

安水六、江村北海清田儼叟の序あり。

○小 丘 園 集

天明二、著者の詩集。越前州菅時憲習之著とあり。

栗 所 先 生 集

未刊の詩集、前篇は篠山作、後篇は大瀬作。

粟 雲 詩 稿

文化一〇龜田鶴齋の序あり。

北 陸 遊 集

伊勢人、自天保一四至弘化元、詩歌集。

○清 夏 遊 集

淺井八百里

雲洞先生詩文集 寫一
 湔園詩鈔 寫一
 ○真齋百詩 寫一
 ○真齋百詠 寫一
 ○真齋道中詩歌 寫一
 ○真齋遺稿 寫一
 ○靜觀舍八勝稿 寫一
 ○春華詩草 寫二
 ○炎洲雜詩 寫一
 小化堂詩鈔 寫一
 笙洲詩稿 寫二
 松齋詩稿 寫一
 常足齋詩稿 寫一
 進德館詩集 寫一
 大鄉浩齋遺稿 寫一
 觀海小齋遺藁 寫一

前田雲洞
 同野真齋
 高野真齋
 同
 同
 同
 同
 高野春華
 雨森增質
 小笠原長守
 士井利義
 間部詮勝
 同
 大郷浩齋
 小栗十洲

一名詠百首詩。
 一名詠百首詩歌。
 乙巳東道紀行、岐蘇紀行、丁未東道紀行等を收む。
 明治一四

鯖江女師藏。
 鯖江藩養月並詩會の詩集。

峻南詩稿 寫一
 牛南詩鈔 寫一
 一貫齋詩文 寫一
 雲處詩鈔 寫一
 湖雲嶽雪集 寫一
 對牀唱和集 寫一
 杏園遺稿 寫一
 詩礎階梯 寫四
 古錦集 寫二
 醉華抄 寫二
 ○醉華吟 寫一
 ○葵園遺草 寫二
 ○大統遺歌 寫一
 ○毛川遺稿 寫二
 柏陰小稿 寫一

勝授寺峻南
 雨森牛南
 内山隆佐
 蒔田雲處
 遠山雲如
 橋本綱常
 同本綱常
 三國幽眠
 廣部鳥道
 同
 同
 橋本左内
 鹽谷岩陰
 林毛川
 山崎春吉

天保六初秋よりの詩文を自ら記載したるもの。
 文久紀元、雲如山人集第四集上巻、入越の漢詩集。

杏園は橋本綱常の子、景岳の甥。
 天保一五著、明治九改刻、四巻薄葉一冊に改む。

未刊の詩文。
 明治一一
 大正一五

同二、橋本左内全集の内。
 同三、福井藩校内頒行本。
 明治二四
 同二四

藝術

○幸若音曲家歴代
 ○幸若音曲家歴代
 樂名考
 大樂發揮摘注
 箏曲秘譜
 ○雪齋運金圖譜
 ○瀧谷寺道雅書
 ○行書千字文
 ○續消息往來
 ○青木龍峯書
 ○大山陶齋書
 ○上阪先生書
 子叢摘芳集
 日本金石集

同 田 雁 門
 同 同
 島 雪 舸
 道 雅 上 人
 青 木 龍 峯
 同 同
 大 山 陶 齋
 上 坂 筵 吉
 間 部 松 誠
 佐 藤

古事類苑樂舞部一の内。
 越前人物志卷上系圖の内。

天保八

安政五、三國幽眠の序あり。

春夜宴桃李園序其他

金石拓本雜卷
 花洛名勝圖會
 小笠原流躰
 日本禮式小笠原流要略
 ○山高水長圖記
 舞のの本
 ○越山若水
 ○行啓記念寫真帖
 福井縣寫真帖
 ○明治神宮獻帖
 實用能書術
 ○越人遺墨寫真帖
 現代書法論
 三友茶會圖錄
 ○天心全集

同 山 華 溪
 横 山 教育 會
 勝 井 市 三 明治二〇
 松 井 雪 爪 同二七
 鴻 田 萬 年 同三七
 上 田 萬 年 同三七
 福 井 縣 同四二、行啓記念帖。
 福 井 市 役 所 同四二
 大 塚 德 治 郎 同三九、福井縣ガイドブック第一篇。
 同四二、同 第二篇。
 福 井 縣 教育 會 大正六
 西 脇 吳 石 同六
 山 下 與 平 同七
 圓 道 祐 之 同八
 川 上 氏 外 二 名 同九
 日 本 美 術 院 同二、岡倉覺三の全集、和装本三冊。

歴史

一般史

○義經辨慶平泉寺詣	一	足羽敬明	義經記(有明堂文庫第一輯、改定史籍集 覽第一六)の内。
三代實錄故事考	寫三	高田保淨	
神史提要	自筆二	梅田高起	
正史國司考	三	三國幽眠	明治八
古訓古事記	三	伴信友	同一六
○史籍年表	一	瓜生寅	同四〇
國史の研究	一	桑原隲藏	還曆記念集
東洋史論叢	一	平泉澄	大正一五
我が歴史觀	一	同	昭和七
國史學の骨髄	一	同	
明治裏面史	一	伊藤痴遊	同三

上略傳	年譜	論說	詞藻	書翰	講演	日本美術史
下 歐文著書抄譯	附 泰東巧藝史梗概			追想錄	The Heart of Heaven	
敦賀郡名所古蹟寫真帖	一	敦賀郡役所	行啓記念			
○皇太子 殿下行啓記念寫真帖	一	福井縣	大正一三			
○織田燒の研究	一	杉本剛	同一五			
藤島神社寶物謹寫帖	一	藤島神社				
○追懷帖	一	松平康莊				
○福井城舊景	一	山田秋甫	同三			
○曙覺遺芳	一	圓通庵				
屋島集	一	同				
○福井縣のおもちや	一	内島玉峯	同七			
○松堂公記念遺墨集	一	享淨會	同九			
○五十年祭	一	願慶寺				
○吉崎寫真集	一					

昭和二年四月、グリフィス博士福井來訪の際贈呈する寫真帖。
 原本は松平家藏、同一摸寫。

同八年十月大演習の際獻上記念、種々の寫真並古文書を收む。

大戦後の世界史 一
○開國文化史料大観 一

滋賀 貞 同六
大阪朝日新聞社 同四、開國文化展覧會出品目録帖、若越文化の圖書あり。

地方史

結城御代記 一
越前家分限帳 寫一
○中納言秀康卿分限帳 寫一
○中納言中御給帳 寫一
○中納言御給帳 寫一
○中納言秀康卿分限帳 寫一
淨光院様別記 寫一
淨哲書 寫一
○幕初二公遺譚 寫一
越前家覺書 寫一
越前六十八萬餘石高附帳 寫一

安藤七郎右衛門

慶長一五年二月改正、忠直公の時のもの。
慶長一五調、文久二寫、明治四三複寫。
寛政一〇年三月壬午寫とあり。
西岸公末年の記事、本多淨哲が笈治刑部に與ふる書。
秀康忠直二公の記事、明治三八年四月一日藤田源三郎寫とあり。
享保一六馬場太郎右衛門の奥書あり、秀康出生より忠直江戸より越前に歸るまでの記事。

久世騷動記 一
袖目金 寫一〇
忠直公御家中給帳 一
忠直公大阪御陣御備覺書 一
忠直卿御在豊之記 一
治國事蹟録 三
光通公御家中給帳 一
綱昌公御家中給帳 一
○德正君御出語 寫一
○越前國主名簿 寫一
○越前國主記 寫一
○越前藩世代記 寫一
越前世守録 一
越前國司記 一
越前外記 寫三
○落穂集 寫一五

梅字軒中村闇

淨光公より德正公までの記事、松平家蔵。

明石慶弘

延享二三の頃の筆、文政七山崎英之寫、天保一四淺井政昭寫の二種あり。
天保一〇
天明三、酒井氏家臣隠者木下良貞寫。
松平家系圖、天保六山崎英之寫。

大道寺友山

天保一一、本庄政房寫。
越前國主の變遷を記す。
享保一二、家康公一代の記事、寫本三卷、足利友山八十九歳誌之と奥書あり、改定史籍集覽第一〇の内。

○同 追 加 寫五 同
 結城以來御侍召出並御取立出身錄 一
 ○南 越 雜 話 寫三
 ○冬 夜 雜 話 寫二
 ○靈 巖 夜 話 二
 ○越 叟 夜 話 寫一
 ○越 叟 閑話並御給帳 寫一
 ○老 人 雜 話 寫二
 越 翁 雜 話 寫一
 越 藩 雜 記 寫一
 越 藩 雜 誌 寫一
 越 史 紀 畧 寫四
 ○御 手 供 傳 帳 記 寫一

高 伊 同 大 道 寺 友 山
 島 藤 同 道 寺 友 山
 信 坦 同 道 寺 友 山
 喬 菴 同 道 寺 友 山

上卷は寛延元、父村田氏純、中卷は明和九、兄良純、下卷は安永一〇、弟氏章の聞書。
 第一卷は文政六、山崎英之、第二卷は文久元、同英常の各自序あり。
 享保一三、寫本十卷二冊、靈巖夜話大意と題せるもあり。
 淨光公西殿公陸芳公三代の紀事、山崎英貞寫。
 越叟夜話に同じ、外に黃門陸芳大安三代の紀事と越前領主、秀康公治好公各御給帳とあり。
 江村專齋談、坦菴筆記、改定史籍集覽雜纂類の内。

御參府御道中行列記 一
 御代々御家格拔書 一
 御 年 表福井藩 一
 越 藩 君 臣 年 表 一
 越 前 家 御 一 族 家 記 一
 ○越 藩 諸 士 元 祖 由 緒 記 寫一
 越 藩 銘 列 鑑 一
 ○越 藩 史 略 寫一三
 越 國 春 秋 寫一
 越 藩 拾 遺 錄 寫二
 越 藩 貴 耳 錄 寫三
 ○越 藩 轉 宅 考 寫一
 越 系 餘 筆 寫一
 越 藩 記 事 寫一

井 上 翼 章
 同 村 田 氏 純

松平家藏
 同
 同
 享保六年七月家中系圖調、弘化二初秋山崎英常寫。
 慶應四
 天明元、明治三四青山正日置謙校訂活字本あり。
 中世以來國主の沿革より寺社の縁起等を集めたるもの、伊藤龍洲の序、本多氏の跋あり、松平家藏。
 秀康公より重富公までの歴代藩主の聞書、天保一四年寫とあり。
 安政六、山崎英常寫。

越前國中村々名寄領主記

寫一

福井藩内衆並府中士卒名列

彫蟲居越前史料集

寫三

越前宗門暴動記録

本多家御歴代記

本多伊豆守家來高名附

武生藩給帳

武生騷動記

武生暴動記

天保飢饉之記録

本保百姓騷動記

○丸岡本多騷動記

越前國丸岡城請取覺

松岡諸士家譜

寫一

佐藤誠

天平勝寶元より延寶八までの領主五十七名を擧ぐ。
明治二
福井藩士、篆刻家、東大圖書館蔵。
明治六、福井縣蔵。

松本源太郎

大正八、武生郷友會誌第四一號の内。

柳掃軒

天保九、「越前中津政所」の落款あり。
同八

享保一七年六月記録とあり、昭和五、勝山千百里本の寫。
元祿八年五月六日、大野藩主土井利知が幕命に依り、丸岡城請取の顛末。

○松岡分限帳 寫一

大野藩士由緒書 四

○大野藩士古分限帳 鐵筆本一

大野藩と大野丸 一

各藩より大野洋學館へ入學人名錄 一

勝山町木戸掟其他 寫一

勝山町公用日記 寫一

慶應四辰年勝山米騷動御仕置覺 寫一

勝山藩御一新次第 寫一

勝山在蓑蟲記 寫一

○勝山藩古事記 寫一

自嘉永三年至明治三年小笠原家略記 寫一

敦賀縣歴史 寫一

敦賀叢書 三

卷上敦賀志稿

高温知會 昭和三、岡不崩の講演筆記。
高島正 大野丸が米船救助を主眼とせし記録。

天保一三、津田氏本、川村氏本により山崎英常寫とあり。

近藤與平寫 文政二
安田仁一郎 昭和六

敦賀縣會 明治九
同四〇—同四二

○若狭守護職代記 寫六

○若狭守護職次第 一

若狭國稅所今當名領主代々次第 一

若狭代々記 寫二

○若狭湯川彦右衛門覺書 一

○若州聞書 一

若狭國造の話 一

○若狭國造由緒稿 一

古文零集(若狭ノ部) 一

○若狭國郷帳 一

○史料通若狭越前 二

信叢書若狭越前 寫一

近藤、瓶城

伴 信友

群書類從補任部第五〇の内。
同

續群書類從合戰部第六四三、又改定史籍集覽第一五の内。

改定史籍集覽第一六の内。
宮内省圖書寮蔵。
昭和六

酒井伯爵家蔵。
元祿一三年十一月、天保五年十二月調、福井縣史第二冊附録。
正保三年三月十二日調、若狭三郡、敦賀郡、近江高島郡の内。

越前に於ける百姓史 上一

杉本英壽 昭和七

同二、江戸文藝第一〇卷の内、若越の傳説を收む。

○越前及若狭地方の史蹟 一

上田三平 同八、三秀舎三十周年記念出版。

○福井縣の藩風と古城 一

赤木萬次郎 藩風と古城(大正九内田茂文編)の内。

○福井縣史談 二

福井縣 明治二七、生徒用教師用の二種あり。

○福井縣郷土史 四

德山國三郎 昭和七

○福井縣郷土史 二

同聯合教育研究會 同六

○福井縣郷土史 一

高島正 大正元

○福井縣太經營史 一

同八

福井市政三十年史 一

福井縣絹織物組合 同二〇

○三十五年史 一

福井市役所 同二二

○福井市教育五十年史 一

同二二

○古志 四

島崎圭一 第一輯より第四輯まで。

讀群書類從合戰部第五八七の内、正體合戰部第三九一にも同名の書あり。

萬治二年の自序あり。

繪本太閤記五篇卷五の内、挿繪あり。

明治四二、柴田退治記其他の史料を蒐集したるもの。

貞享三 文化四の露寇につき外國との和交と内政改革の要を説きたるもの。

明治九

福井縣藏

同

鶴飼子直

須永金三郎

陶山六郎兵衛

杉田玄白

松平慶永

高島正

大正七

先哲醫師略傳と合本。

○柴田退治記

一名柴田合戰記

柴田戰記

一名柳瀬戰記

○北莊の落城

○柴田史料

○大阪兩度御陣覺書

野叟獨語

安政記事稿本

明治維新前後殉難傳記

敦賀水風呂軍記

○箱館戦争と大野藩

箱館戦争記

征長出陣記

征長畧記

○堺町守衛兵防戰雜記

寫一

寫二

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫二

寫三

寫一

堺町御門防戰畧記

討會雜記

會津征討出兵記

越後口會津御征討勤書

波山始末

尊王攘夷水戸浪士始末

○賊徒一件稿

水戸浪士西上顛末

江南の戰(上海)

建武中興

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

寫一

井戸惣三郎

史談會

山本元

福井史談會

石川縣圖書館協會

步兵第卅六聯隊

平泉澄

明治元

同三二

昭和三

水戸浪士に関する資料。

昭和九、旭櫻雜志、葉役日録の合本。

同七春出征記念。

同九年三月十三日建武中興六百年記念。

系



○玉穗宮天皇大御世系軸

自筆一

田中大秀

碑は足羽山にあり。

新田系圖 一
 ○新田族譜 一
 ○朝倉系圖 一
 ○柴田系圖 一
 越前世家譜 六
 越前家御家譜 一
 越前家々系綴 一
 松平系譜 一
 越前黃門年譜 寫二
 結城御系圖 二
 秀康公御世譜引書 二
 ○若狹藩主領主系圖 一
 本多富正公御家系 一
 ○若州武田系圖 三
 ○若州武田之系圖 一
 ○若州武田系圖 寫一

伴信友
 鈴木眞平
 國書刊行會

明治二三、藤島文庫藏版。
 續群書類從系譜部第三八〇の内。
 系圖綜覽の内。

松平家藏

寛政重修諸家譜、越前人物志、若越墓碑
 ゆぐりの内。

續群書類從系譜部第一二三の内。

同 淺羽本。

續群書類從系譜部第一八の内。

小濱酒井系圖 一 國書刊行會 系圖綜覽の内。

古文書

敦賀古文書 四
 ○越前若狹古文書選 一
 ○大日本古文書 八五以下

八五以下
 續刊

山本元
 牧野信之助
 史料編纂掛編

昭和八、東京三秀會三十周年記念出版。
 東大藏版

越前國義倉帳 同 天平 二
 同 正稅帳 同 同 三
 同 郡稻帳 同 同 五

卷之二

越前國江沼郡山背郷計帳

卷之四

越前國公驗 同 天平勝寶 七
 同 使等解 同 同 七
 同 雜物收納帳 同 同 七

同 田使解 天平寶字 八
 同 田使解 元
 同 使等解 元
 同 使等解 元
 同 坂井郡司解 二
 同 田使解 二
 同 田使解 二
 同 國司牒 二
 同 坂井郡司解 三
 同 足羽郡下任道守德太理啓 三
 同 足羽郡少領生江臣國立解 三
 同 足羽郡書生島部連豐名解 三
 同 東大寺開出越前國足羽郡養置村地圖奥書 三
 同 寫眞版
 越前國司公驗 天平寶字 八
 同 足羽郡司解 二
 同 足羽郡司解 二
 同 江沼郡幡生庄使解 二

卷之五

同 坂井郡溝江庄所使解 二
 同 坂井郡子見庄使解 二
 同 足羽郡司解 二
 同 足羽郡大領生江臣東人解 二
 同 足羽郡少領阿須波臣東麻呂解 二
 同 司解 二
 同 足羽郡養置村東大寺田圖寫眞版 二
 同 使等解 二

卷之六

越前國坂井郡司解 寶龜 一
 東寺文書之一
 若狹太良保に關する文書八十八通 自治承 五
 同 大興寺地頭若狹直阿申狀案 年 月 日 不詳 二
 同 中手西郷里田内檢帳案 文 永 二
 東寺文書之二
 若狹守護代小笠原淨祐書下案 應永 四
 同 太郎莊に關する文書十二通 自應永 二
 同 法橋慶國奉書案 至文保 七
 同 應永 三一

同 守護被官奉書案
 同 上
 同 上
 上杉家文書之一
 朝倉宗滴教書狀
 天文 二一

幕末外國關係文書之一八

越前國福井城主松平越前守慶永上書 安政四年十一月二十六日
 老中へ米國總領事日本の重大事件申立の件
 若狭國小濱城主酒井若狭守忠義上書 同 四年十一月二十七日
 老中へ米國總領事日本の重大事件申立の件
 幕末外國關係文書之二〇
 越前國大野城主土井能登守家來屆 安政五年五月二十二日
 在府箱館奉行へ北蝦夷地開拓の件
 越前國福井城主松平越前守慶永上書 安政五年六月十四日
 老中へ亞米利加條約につき勅答の件

墳墓

越 藩 古 墳 帳 寫一
孝顯寺 永平寺 御 墓 地 圖 一袋
 越 前 御 寺 御像堂 御墓地 圖 一包
 松 平 家 尊 靈 名 簿 一箱
 高 野 山 御 石 塔 錄 一
 越前國今立郡榎尾村古墳圖 寫一折
 福 井 墓 碑 一 覽 自筆本一 福 田 源 三 郎
 松原墳墓由來記略 一
 日露戰役戰病死者芳靈 一
 若越カメヲ巡禮 一 石 橋 重 吉
 ○若越墓碑めぐり 一 同 七
 正徳以前福井藩臣の古墳調。
 松平家藏
 同
 同
 同
 明治九年十一月十日、鈴木太右衛門より
 教部省へ提出したるもの、宮内省圖書寮
 藏。
 昭和五年三月十二日、福井だるま屋にて
 法會嚴修。
 同六 大毎切抜。
 同七

傳記

道元禪師和尚行錄 一
 永平高祖行狀記 二
 ○道元禪師行業記 一
 同言行錄 一
 道元禪師傳 一
 道元禪師傳 一
 承陽大師御傳記 一
 永平孤雲懷昇禪師 一
 永平孤雲懷昇禪師御傳記 一
 永平寺三祖行業記 一
 ○吉峯寺第五世佛心和尚行實 一
 總持開山太祖略傳 一

僧珍牛 續群書類從第九輯の内。
 文化五
 延寶八
 偉人研究第二七篇。
 法孫比丘建擲 外
 本田無外
 荒井淚光 明治三〇
 鹽澤觀山 同三五
 弘津說三 同三五
 村上素道 昭和三
 大久保道舟 同五
 高山大鳳 昭和六
 瀧谷琢宗 明治一二、開山は越前人。
 續群書類從第九輯の内。

常濟大師御傳記 一
 蓮如上人遺徳記 一
 蓮如上人御一代聞書 二
 ○蓮如上人 一
 吉崎の蓮如上人 一
 隨筆蓮如 一
 ○新田公略傳 一
 ○新田左中將 一
 ○新田氏研究 一
 新田公歿年考 一
 岩淵夜話集 一
 同別集 一
 秀康公行狀 一
 福井鑑 一
 奉思錄 一

伊藤道海 大正一四
 僧兼縁 大永四、眞宗法要第二三に收む、兼縁は蓮如の七男。
 前田慧雲 大正一五
 梅原眞隆 昭和三
 江部鳴村 大正二
 今井清彦 同七
 笹川臨風 同上の増補。
 藤田精一 寛文一〇
 新井白石 秀康忠直忠昌三代の事歴を或間體にしたるもの。
 大道寺友山 家康公生涯の事歴を記述したるもの。
 同 同上の増補。
 大原武明 寛文一〇
 澁谷權右衛門 安政三

○忠直卿行狀記
 ○松平忠直卿の生涯
 ○忠直卿
 餘談 津守の越前殿
 西岸公御一件書物 一綴
 西岸公行狀記 一
 一 國公略傳記 一
 隆芳公略傳 一
 同 公御一代略記 一
 ○探源公行狀記 一
 大安公略傳 一
 ○明君言動錄 一
 新撰忠義傳 一
 福井侯行實略 一
 ○松平春嶽公履歷 一
 ○松平春嶽公履歷 一

菊池 寬
 島崎 圭一
 半井 桃水
 平沼 淑郎
 史學雜誌六の九。
 松平家藏
 現代日本文學全集の菊池寬集の内。
 大正四
 同
 文化九年二月、鈴木長恒寫とあり。
 天保一四、吉邦公の言行録、二卷一冊。
 天保五
 尾張雜書の内、慶永公の事蹟を略記したるもの。
 明治二三
 村田 氏章
 高田 保淨
 佐々木 千尋

松平春嶽公略傳 一
 春嶽公逸事 一
 士族略履歷 一
 士族姓名錄 一
 福城勇士傳 三
 ○伊藤坦菴傳 一
 ○同 龍洲傳 一
 ○同 錦里傳 一
 ○清田儼叟傳 一
 横井梅村翁 一
 瓜生梅村翁 一
 ○瓜生判官事蹟 一
 松平家御傳記 一
 諸師範家由緒書 一
 越藩師範家傳錄 一
 ○先哲醫師略傳 一

淺井 政綱
 鹽谷 宥陰
 同 二五
 弘化四
 松平家藏
 先哲叢談後編、越前人物志の内。
 同
 同
 同
 少年讀本第二〇編。
 高野 酒竹
 大野 正寅
 高島 正寅
 瓜生 寅
 明治三七
 松平家藏
 同
 堺町守衛兵防戰雜記と合本。

○曾我二孝子傳
 越前國奇人物記
 越前國孝行者名簿
 間部詮勝傳
 藩祖(詮房公)遺徳抄
 杉田鶴山
 ○杉田鶴山翁
 血痕集
 内山良休翁略傳附碑文
 内山隆佐略傳
 笑
 ○由利公正
 ○由利公正傳
 淨勝寺丹山
 ○十井利忠公傳柳陰紀事

河津直入 明治一八
 塚本松之助 傳記は漢文、鯖江女師藏。
 中村江畔 大正五
 雜賀博愛 昭和三
 杉田定一 明治一二
 石川三吉 同二九
 三國幽眠 鯖江女師藏。
 芳賀八彌 明治二九、著者の經歷を記したるもの、自筆本もあり。
 三國丈夫 同三五
 山田秋甫 大正五
 吉田拙藏 同三
 明治四二、大野藩主土井利忠在世中の施政軍備蝦夷開拓等の紀事。

○西野翁の遺蹟
 善行
 ○越前人物志
 福井縣の華
 柿谷半月
 ○丹生郡人物志
 淨勝寺丹山
 ○南部廣矛翁
 ○北陸の偉人大和田翁
 ○長谷川喬君記念録
 ○平瀬作五郎先生小傳
 ○奮闘五十四年
 景岳先生事蹟考
 ○橋本左内
 橋本左内小傳
 ○橋本左内傳

同翁建碑委員部 同四一
 福井縣 同四二
 福田源三郎 同四三、三卷二冊。
 木戸政榮 同四四
 山本元 同四四、鯖江女師藏。
 山田秋甫 大正元
 同 同三
 南部球吾 同三、歌集と傳記及紀行を收む。
 中安信三郎 同三
 飯田敏雄 同四
 平瀬教諭謝恩會 同四
 市川新松 同四、著者の自敘傳。
 村田氏壽 東大圖書館藏。
 西村文則 明治一二
 桐生悠々 同三四、少年讀本第三三篇。
 蒲生重章 近世偉人傳上卷の内。

○橋本左内小傳
 松平慶永 橋本左内全集の内。
 高橋淡水 大正一〇
 滋賀貞 同 一三
 平泉澄 第一輯昭和三、第二輯同四、第三輯同六。
 大久保龍 昭和六
 景岳會 明治四一、〇印は單行本あり。
 年譜
 安政六年十月取調口書
 館務私記一卷
 墓石建碑始末等
 書翰(先生よりの書一〇七通、先生へ
 三一八通、他より他へ五八通)
 ○啓發錄一卷
 奉嶽公祭文並祭歌

山田秋甫 昭和七
 大正一五
 島崎圭一 昭和二
 相馬御風 同 二
 松平家藏
 大正一四
 國語と國文學昭和二年四月號。
 昭和二、追悼號。

鈴木主税重榮略傳
 林毛川
 芳賀博士追悼號
 芳賀先生生
 ○芳賀博士を偲びて
 ○芳賀博士を偲びて 續篇一
 ○同 續々 篇
 ○芳賀博士追悼錄
 ○大正天皇御一周年祭日にあたり
 ○世直神祠と鈴木主税
 ○新日本 下部太郎
 ○先驅者 下部太郎
 日下部太郎履歷書
 ○三好波靜略傳
 ○高桑實先生自敘傳
 顯順師殉難錄
 關男爵第一號履歷概要並冤獄記事

勝山町教育會 大正一四
 進藤讓 昭和二、追悼號。
 永井環 同 三
 同 同 五
 同 同 七
 同 同 二
 同 同 六
 同 同 五
 松原秀成 大正二
 柳下彦雄 同 一〇
 金森顯真 同 一二
 山本匡輔 同 一二

○近畿福井縣人史 一 福井縣人協會 同 一〇
 ○關東福井縣人史 一 同 一二
 朝鮮滿蒙に於ける北陸道人史 一 荻野勝重 昭和二
 ○東京新福井縣人錄 一 福井縣人陸會 同 三
 ○郡外大野郷友錄 一 大野新報社 同 八
 ○朝鮮福井縣人名簿 一 松原徹州 同 三
 ○大野郡長時代の山田卓介 一 勝山千百里 同 三
 石渡宗伯 一 土肥慶藏 同 二
 ○故比企忠博士追悼之記 一 水曜會 同 二
 秋元時憲傳 一 石橋重吉 同 二
 同五年十一月八日福井新聞、小丘園集の著者。
 同五、福女校友會誌第一七號。
 三田村栗所傳 一 若越縣友社 同 四
 ○御大典福井縣人の精華 一 牧野信之助 同 六
 ○眞盛上人御傳記集 一 山下與平 同 六
 北莊堀秀政 一

大野郡人物志 一 大野郡教育會 同 七
 三寺三作傳 一 石橋重吉 同 七、福井評論五月六月號。
 土肥博士追悼錄 一 柳下彦雄 同 七
 ○忠烈のゑ女 一 石橋重吉 同 七、同九臺榭寺内に銅像建立。
 福井縣大野人物傳 一 大野郡教員會 同 七
 柴田勝家公小傳 一 白崎良晃 同 六
 柴田勝家 一 島崎圭一 同 七
 ○福井商工人名錄 一 福井商工會議所 同 七
 僧大道之事蹟 一 月輪眞成 同 八
 榮光錄 一 福井新聞社 昭和九、大演習記念。
 ○青井山高成寺開山大年大和尚傳 一 續群書類從傳部第三三五の内。
 酒井空印言行錄 一 山口安固 小濱酒井忠勝公一代の言行逸事を蒐集したるもの。
 仰景錄 一 同 天明元、藩命にて編輯せり。
 ○若州良民傳 一 同 若州早瀬の孝婦いと女の傳。
 孝婦記 一
 松木莊左衛門傳 一 「日本及日本人」大正八年九月義民號の内。

宗演禪師の面目	一	長尾宗軾	德川三百年史中巻の内。
杉田玄白	一	富士川子長	明治四三
佐久間大尉遺書	一	水交社	明治四三
○殉難佐久間大尉	一	成田銅太郎	同 四三
○沈勇なる佐久間大尉	一	同	大正一一
○酒井忠勝公年譜並言行抄	一	同	明治四四
杉田玄白先生贈位祝賀會記事	一	同 四一	同 四一
東條義門師傳	一	菊池三溪	若越歌人傳の内。
○若州偉人傳 第一篇 義門法師	一	松見半十郎	大正三
若州偉人傳 第二篇 網	一	同	同三、同一四再版。
若越歌人傳 寫一	一	同	同三、同一四再版。
噫藤本伍長	一	島津盛太郎	井義門、伴信友、同信近、古河教典、白井對山、藤倉愛子(以ト若狭)井手環覽(越前)の七人を受む、赤沼書屋の野紙、赤沼伍八郎寄贈本、帝國圖書館藏。大正一四
梅田雲濱先生小傳	一	佐青伯木	明治四一
○梅田雲濱遺稿並傳	一	仲晦	昭和五
		藏藏	

地理

地理誌

若狭越前

○若狭越前民俗氣質評判	一	宗祇(道興)	人國記(改定史籍集覽類纂類第一七、武揚叢書第二三)の内。
○回國雜記	一	關岡野洲良	群書類從紀行部第一一、若越通過の記事あり。
○若狭國若狭比古神宮寺	一	同	古事類苑神祇部の内。
○越前國氣比神宮寺	一	同	古事類苑地部の内。
同 標註	二	林宗二	天明五
○若狭越前地誌資料	一	鶴峯戊申	第二七冊若狭越前、帝國圖書館藏。
北陸名勝圖記	寫一	同	第三五冊若狭越前、帝國圖書館藏。
大日本風土記	寫三八	同	正徳三、卷一、二は西紀行、若狭への記あり、卷六、七は拾遺、敦賀への道の記あり。
郡類纂	寫四三	同	
諸州めぐり	七	同	

- 日本國盡 瓜生寅 明治五 宮内省圖書寮蔵。
- 北陸道風土記 寫一 松平慶永 文部省原刻、明治七續刻、和紙和裝本十
- 北陸鐵道論 一 敦賀縣 二葉
- 刻地理初步 一 本多鼎介 同 一五
- 福井縣管内地誌略 一 岩佐靜夫 同 一五
- 若越真砂類聚 一 福井縣 同元年八月三日同九月七日の水害記事。
- 福井縣暴雨水害景况 一 同 三三、二十三頁圖入。
- 福井縣改修事業參考書 一 渡邊市太郎 同三二、上中巻は越前、下巻は若狹。
- 九頭龍川 同 松本保吉 同 三九
- 若越寶鑑 三 福井縣 同 四二
- 北陸三縣實况案内記 一 福井縣 同 四二
- 若越小誌 一 同 四四
- 福井縣案内 一 同 四四
- 同 一 同 四四
- 福井縣の地誌 一 大日本府縣志(河井重太郎編)第六〇冊の内。
- 若狹越前地誌 一 大日本地名辭書北陸道の内。

○同

- 福井縣史蹟勝地調査報告 二 福井縣内務部 新撰名勝地誌卷六の内。
- 福井縣史蹟名勝天然記念物調査報告 二 同 大正九、第一冊若越に於ける古代遺蹟、
- 福井縣史蹟名勝天然記念物要覽 一 同 同 一〇、第二冊古城址。
- 若狹越前史蹟名勝天然記念物 一 同 大正一三、第三輯天然記念物及名勝地、
- 若越しるべ 一 同 昭和五、第四輯同上。
- 行啓記念事業 一 同 同 六
- 皇太子行啓記念 一 福井縣教育會 史蹟名勝天然記念物後篇の内。
- 殿下 一 對岸實業協會 大正一三
- 若越しるべ 一 東京日々新聞社 明治四二
- 攝政宮御統監北陸大演習記念 一 敦賀運輸事務所 同 四二
- 名勝案内 一 品川書店 大正一四
- 三國敦賀小濱の港灣 一 同 昭和四 日本地理風俗大系卷六卷七中央及北陸の内。
- 福井縣案内圖繪 一 同 五
- 福井縣地理 一 同 五
- 若狹越前の風俗 一 同 五

近福井縣市町村名録
郷土研究
○若越のかゞやき
○福井縣地理讀本
○福井縣郷土讀本
○御使御差遣箇所概要
我校の郷土教育

品川書店 同七
福井師範學校 同七
福井縣 同八、名勝史蹟天一 物の寫眞帳。
松浦廣衛 同八
同聯合教育研究會 同八
福井縣 同 八年十月大演習の際。
鯖江女師 同九

越前

越前地理便覽 寫二
越前國繪圖記 寫三
歸雁記 寫一
一名越前遠近名所記
歸雁記 寫一
○越前國古城址並館跡考 寫一

松波傳藏
雨森華玉子

貞享二
同乙丑七月の圖に添へたる記録にて、
地理指南地理概地理便覽の三種を收む。
越前各郡の名所記、奥書に正徳二とせ長
月日松波何がしとあり、松平家、帝國圖
書館藏。
寶曆七
享保五書附の寫、三百三十ヶ所あり。

越前古城蹟 寫一
越前城蹟記 寫一
越前國古城館屋敷跡改帳 寫一
○越前名勝志 寫一
越前古名考 寫一
越前郡縣細志 寫一
越前古跡拾集記 寫三
○古今類聚越前國志 寫七
南越探舊指童編 寫一
越前國寺庵 稿本一
越前國寺院記 寫一
越前社寺明細帳 寫四

明石藤太夫
渡邊嘉左衛門
竹内壽庵
阪野梅圃
有馬純芳
小川吟甫
共阿知善

同五、鯖江藩により編輯したるもの。
文化五
越前八郡の社寺名所古跡の來由を記す、
元文三、戊午十一月大野の仕官平泉春庵の
序あり、芦田伊人編大日本地誌大系北陸
之一の内。
寛政一三自序、末尾に文化六己巳年再校
正とあり、宮内省圖書寮誌。
名勝志圖繪記を合せて、猶見聞する所を
書加へたる書。
木田校藏
公命により編輯す、文化元甲子、關隰の
序あり。
文化三丙寅夏の序あり、小川霞流藏本、
福田源三郎寫、越前八郡中敦賀今立丹生
足羽龍井の部、其他略すとあり、帝國圖
書館藏。
文政五稿、編者は岡本村岩本成願寺住僧。

維新前後の福井藩學とグリフィス
 グリフィス博士 一 福井中學校 同二
 我等の福井市 一 福井市役所 同二
 福師附屬小學校 同八、市域氣候産業交通人口等を圖化し
 たるもの。

足羽郡

越前國足羽郡東大寺田圖考
 ○福井縣足羽郡誌 一 芦田伊人 明治四二
 ○一乗谷村志 一 足羽郡教育會 明治四二
 ○足羽郡各村誌資料^{鐵筆本} 二三 足羽郡一乗谷村役場
 各村小學校

吉田郡

曹洞宗永平寺 一 日置謙 明治四一
 大本山

○福井縣吉田郡誌 一 吉田郡役所 同四二
 吉田郡みやげ 一 吉田郡教育會 同四二
 ○菊の餘香 一 吉田郡奉迎會 同四四
 永平寺詣で 一 報知新聞社 昭和五

阪井郡

繪異國たび硯 二
 異國漂流物語 寫一
 新保浦藤左衛門物語 一
 新保村之者漂流歸朝演說書 一
 落船異國物語 一 鷺田土三郎
 ○竹内藤右衛門の通商 一
 越前三國商榷組渡口上書其他 一
 越前丸岡人喰鬼婆瓦版 一
 四卷二冊中、著者正代板元不明、寛永
 二一年(正保元)新保浦の竹内藤右衛門等の
 組榷へ漂流したる異國物語。
 原本は三國町性海寺藏。
 明酒館書目にある。
 同
 福井縣人樺太經營史第三章。
 時代不詳、繪入瓦版。

グリフィス三國見物の譯文 寫一

坂井郡案内 一

東尋坊 一

三國町概観 一

○三國名勝記 一

○福井縣坂井郡誌 一

○雄島村誌 一

○福井縣蘆原温泉誌 一

坂井郡重要物産共進會 明治四

吉川隆文館 一

井田虎男 大正元、同七の二種あり。

郡教育會 同元

雄島小學校 昭和七

島崎圭一 同七

大野郡

大野丸圖 一

同米船救助の圖 一

同救助助記 一

北蝦夷地開拓始末大概記 一

内山隆佐 自筆、土井家藏。

土井家藏、安政六年八月函館近海にて救助す。平泉義徳圖し、鈴木準次其事を託す。土井家藏。

戸塚如水 一

大野志 寫一

勝山より各街道宿々寫 寫一

○福井縣大野郡誌 二

○坂谷五箇村誌 一

岡田輔幹 男幹方の淨寫せる原本。

大野郡教育會 明治四五

大野郡兩村組合役場 昭和四

丹生郡

○丹生郡誌 一

○丹生郡小誌 一

立待村誌 一

○朝日村誌 一

○城崎村誌 一

丹生郡教育會 明治四二

同 大正六

山田秋甫 同四

同 役場 同九

山田秋甫 昭和六

南條郡

府中寺社堂由緒記 一

たけふ案内
 武生町案内
 ○今庄村誌
 ○府中全町家順記
 南條郡誌

納村眞夫 昭和二
 同役場 同四
 庭本雅夫 同四
 武生史談會 同八、嘉永四年府中町代役用、原木長尾家藏。
 同教育會 同九

今立郡

鯖江志
 ○新撰鯖江誌
繼體天皇御遺跡取調ニ付上申書 眞本一
 ○郷土誌
 ○今立郡誌

芥川元澄 寛政五、菅田伊人編大日本地誌大系北陸之一の内。
 大正三
 松井政治 明治一、越前粟田部岡太神社氏子提出、宮内省圖書寮藏。
 野村五男 同、粟田部關甚造、鳥伴平より提出したる書類、宮内省圖書寮藏。
 今立郡役所 男大迹王潛龍時代の事跡を書きしもの。明治四二

敦賀郡

味真野名迹志
 味真野名蹟誌
 味真野通誌
 味真野村史記鐵筆本一
 河和田案内
 ○片上村誌
 ○男大迹部誌
 上池田村誌

味真野保勝會 大正三
 萩原正基 明治四三
 味真野小學校
 河和田村 昭和七
 宮本清十郎 同七
 伊藤百助 同七
 西村佐太郎 同七

敦賀氣比松原
 敦賀名勝詩
 ○茶の十徳も一度に皆
 敦賀郡八景畧説

廣重筆錦繪。
 元祿五、十六枚畫入、帝國圖書館藏。
 敦賀湊利助の事、近代日本文學大系井原西鶴集日本水代藏卷四の内。
 奥書に江良浦東浦村武内宿禰末孫刀禰彦右和吉家、元祿一一南呂相傳秘書中より鈔出すとあり。

増訂小濱のみなど
 ○小濱案内
 ○小濱港灣誌
 松永村誌
 知三村誌
 鳥羽村誌
 三宅村誌
 野木村誌
 ○若狭遠敷郡誌

大飯郡

本郷湊
 ○福井縣大飯郡誌

江口成徳 明治四一
 鹿野信太郎 同四一
 三浦周行 大正二、日本史の研究第四編第二章の內。
 同 役場 大正三
 小野喜久三 同四
 同 役場 同五
 同 役場 同八
 植野信治郎 同二一
 同 教育會 同二一

岡田成美 大正二、郷土志。
 同 教育會 昭和六

地圖

越前七郡地圖 寫一
 越前八郡地圖 寫一
 越前十二郡地圖 寫一
 慶長年間御城圖 寫一
 福井城各門見取圖 寫一
 越前國北之庄御城下古圖 寫一
 同 寫一
 ○同 寫一
 福井古圖 寫一
 御城下社寺繪圖 寫一
 ○福井藩城下圖 寫一
 ○福井御城下之圖 寫三
 ○福井藩御家中屋敷圖 寫一
 ○越前國大繪圖 寫一

井戸時也

慶長、松平家藏。
 自慶長八至同一七。
 自正保八至寛文一三。
 天和三、嘉永五山崎英常寫。
 寛文、同。
 松平家藏
 寛政
 文化、嘉永五山崎英常寫。
 文政元、山崎英之寫。
 同二、山崎英之寫。

教 育

朝倉英林宗滴	寫一	朝倉敏景	子孫に與へたる教訓書。
○朝倉敏景十七ヶ條	一	同	朝倉叢書の内。
○鳩翁道話	六	柴田謙藏	編者名は武修の開書、大野藩士、鳩翁の養子、坊間數種の刊本あり。
○續鳩翁道話	六	同	
○續々鳩翁道話	六	同	
○啓發錄	一	橋本左内	嘉永元季夏誌、又安政四早月識、時年二十又四とあり。
○學校問答書	一	横井小楠	同五、小楠遺稿の内、春嶽公の間に答へし意見書。
聖廟鑽仰集	二	三國幽眠	松平家藏
福井藩教育沿革取調書	一	瓜生寅譯	同
福井藩明道館之圖	寫一	同	同
福井藩學校諸規則	一	同	同
合衆國家政小學	三	瓜生寅譯	明治五

西洋遊	戲法	英ロツクワールド原著	同二〇
男女遊	一	瓜生寅譯	同
日本教育史資料並附圖	九	文部省	明治三六―三七、卷一、四、五に若越藩學、 等館記、學士小傳の資料を收む、武生圖 書館藏。
家庭婦女讀本	一	志田彌	同三七
各科教授法精義	一	森岡常藏	同三九
教育學精義	一	同	同三九
青年の榮	一	淺川武雄	同四四
現代教育主義の弊及其救濟法	一	松本源太郎	大正二
順化	一	北川儉治	同八
福井縣小學校教員檢定受験の乘	一	坪川信一	同一一
創立詩代の進修小學	一	土肥慶藏	同一一
學習原論	一	木下竹次	武生圖書館藏。
若越先人訓	一	足羽郡青年會	同一二
福井縣青年讀本	八	福井縣教育會	同一四
春山教育五十年史	一	春山小學校	同二三
○學校經營の理想と實際	一	川端太平	同五

家庭教育の根本問題
 福井縣修身科資料
 ○白嶺
 明新
 創立五拾周年記念録
創立二十五周年
 新築落成記
 ○開齋先生と日本精神

法政經濟

執法全鑑 二八
 釋奠私議 寫四
 和蘭國憲 寫一
 ○郡宰式目 寫一
 ○交道起源 寫一
一名萬國公法全書

同 同七
 同聯合教育研究會 同六
 福井高女校友會 同六、創立四十周年記念號。
 福井中學校 同六、創立五十周年記念號。
 同六
 福井商業學校 同七
 平泉 澄 同七

淺井八百里
 大郷信齋 寬政二庚申の自序あり。
 杉田成卿譯 天保一四
 嘉永三
 慶應四
 瓜生寅譯

勝山藩所罰例 寫一
 ○中外貨幣度量衡考
 敦賀縣教育規則
 ○福井縣政界今昔談
 ○高椋村々是
 ○破産法早わかり
 ○福井縣自治民政資料
 ○自治民政資料
 ○新日本の財政經濟
 ○假服沿革畧考
 ○經濟訓
 福井縣治概要
 ○地租輕減と杉田鶴山
○産業組合中央金庫の生れるまで
 ○大正十年地方制度級別撤廢の運
 動を顧みて
 ○經濟國策の提唱

瓜生寅 明治元
 敦賀縣 同九
 須山永崎 有金三郎 同四〇
 坂井郡高椋村役場 同四二
 藤井濱次郎 同四二
 木戸政榮 同四五
 福井縣 同四五、展覽會陳列品中の文書の一部を
 編纂したるもの。
 大正二
 本多精一 同二
 關義臣 同二
 本多精一 同九
 福井縣 同三
 山田秋甫 同三
 野村勘左衛門 昭和三
 同 同五
 山本条太郎 同五

福井縣國勢調査概要
○對支外交と滿蒙の權益

一 一

福井縣
川端 太平

同五年十月一日現在、市町村字區名、人口、世帯數を收む。
同六

産業

越府漁品録

商業博物誌

○福井縣物産誌

○越前黃蓮栽培書

新製日本漆紙案内

越前五日箇紙ノ沿革

農業改善調査

各地特産染物の實際

福井縣商業科資料

福井縣農業科資料

福井縣農業教科書

二

一

一

一

一

一

二

石渡宗伯(三代)

瓜生イッツ原著

河田貫一

笹島彦右衛門

岩野平三郎

福井縣農會

鈴木恒夫

同聯合教育研究會

同
福井縣教育會

明治一八

同三五

同四四

大正一四

同 一五

同 一五

昭和六

同七

丹生郡農政誌

○北陸の産業と温泉附事業人物史

○福井縣農政史

○福井縣農會史

一

一

一

一

山田秋甫

北日本社

山田秋甫

縣農會

同七、福井縣の部參照。

同八

同八

同八

理工

萬葉動物植考

詩經名物圖解

變三色奇虫考

○颯風新話

筆算提要

○萬寶玉手箱

坑卒袖珍

三

一

二

一

一

一

寫三

伊藤多羅

細井東陽

伴信友

伊藤慎

同

杉田成卿

西川貫藏

昭和九、國文古註釋大系の内。

弘化四丁未八月の自序あり。

宮内省圖書寮藏。

杉田成卿緒方公毅の序、内山良隆の跋あり、安政四年六月和蘭原書の重譯、大野藩洋學館藏版、譯者は大野藩聘用の蘭學者。

安政五、初篇江戸山城屋板。

譯者は大野藩士、同六、和蘭原書の譯、今の坑道教館、士升家藏。

地質學	二	瓜生寅	譯	明治五
○啓蒙智惠環	三	同	譯	同五初版、同七改正。
理化新說	三	三崎嘯輔	輔	明治二、總論、卷二大阪會審局、卷三大阪理學校藏版。 足羽縣學校明新館の各印あり、活版局發行。
四則設題	一	土屋智	智	同九、福井平澤潤助開版。
○筆算速知	二	同		同二〇、福井平澤潤助桑野多吉開版
○小學相場割	一	佐々木正信	信	同二〇
○小學相場割	一	瓜生寅	寅	同二〇
三界測量握掌	一	大森房吉	吉	同四〇、新世紀講話叢書の内。
小學校用手工篇	三	白井光太郎	郎	同四一
○地震學講話	一	市川新松	松	同四三
增訂日本博物學年表	一	同		大正二
日本產水晶の蝕像に關する研究	二	同		明治四三
同附錄	一	同		大正元
日本之植物界	一	同		
植物生態美觀	一	同		

○日本鑛物各論	一	比企忠	忠	同四五
○森林土木學	一	持田軍十郎	郎	大正二
植物妖異考	一	白井光太郎	郎	同三
御大典紀念福井測候所一覽	一	福井測候所	所	同四
無線電話のはなし	一	横山英太郎	郎	同五
○砂防工事	一	持田軍十郎	郎	同六
家庭燃料	一	石橋弘毅	毅	昭和二
流行の尖端東洋蘭の新研究	一	山田秋甫	甫	同六
○萬葉集草木考	一	岡不崩	崩	同七、大野藩士岡吉秋男名吉壽別號樂只
○福井縣の昆蟲	一	井崎市左衛門	門	同七
福井縣の理科資料	一	同聯合教育研究會	會	

醫學

解體新書 五

鳩鷹模斯原著 安永三、圖二卷、圖說三卷、西洋醫書翻譯
杉且玄白譯 附板の嚙矢。

關野醫	方野治	傷寒論精	本草精	素問精	試藥用	○解劑訓蒙	急性病類集	若越醫學談	越藩福井醫史及醫人傳	○種痘と笠原白翁	女世界徵毒史	○日本藥問史の研究	○鴉軒先生遺稿	○濟世館小史	○農村保健調查報告	
斷	答	義	義	義	法	二〇	二五	二	一	一	一	一	二	一	九	
同	同	妻木	同	同	同	獨逸アレセイニス原著 三崎嘯輔譯	松村矩明譯	岩佐純	若越醫學會	笹岡芳名	笠原健一	土肥慶藏	上田三平	東京帝大戊戌會	大武玄夫	福井縣
		陸叟				明治三、大阪理學校藏版。	同五壬申年發刊、啓蒙義舍藏版、 一八六一年米國ジョセフ、レデー原著。	同九	同三八	大正一〇	同二三	一九三三年	昭和五	同七、史傳、雜筆、旅行記、碑銘、醫學史 上下を收む。	同七	大正一一より昭和五まで九回、九村調。

○福井縣衛生統計要覽

一

昭和九

兵事

神明五元五代傳	福井藩武家諸流由來書	越藩諸師範家由緒記	○高名穿鑿卷	○船軍鏖卷	古戰場夜話	奇正或問	○奇正六十四問答	○一騎武者受用	武鑑師法	○一騎武者受用備考
一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

井原頼文	勝山千百里	片山良庵	同	同	同	同	同	同	同	明石慶弘
------	-------	------	---	---	---	---	---	---	---	------

此書權兵衛重榮公の書玉ひし也、愚孫泰
貫とあり。

享保一七、伊藤龍洲の序、山崎英常寫。

○一騎武者受用之卷末書備考 寫一
 ○武教要集 寫一
 三兵用訣精論 寫五
 山砲演習式 自筆一
 ○武道初心集 一
 和漢軍談紀略考 一折
 煇砲用法
 ○遠西武器圖畧 一
 ○遠西武器圖解 一
 砲術訓蒙
 ○官增補海軍砲術全書 二
 ○海軍砲術全書 寫二八
 ○海上砲術全書 六
 ○附海上砲具全圖 六
 築城全書 寫四
 ○秋聲窓小錄 一

同 同
 西川貫藏譯
 吉田拙藏
 大道寺友山 天保五
 大郷信齋 同 一二
 杉田成卿譯 弘化四
 杉田成卿信參閱 嘉永六、天眞樓藏版とあり。
 市川齋宮恭譯 同 六
 同 同
 杉田成卿譯 安政元
 同 同
 大野 藩
 伊藤慎藏譯 同六、和蘭原書の譯、土井家藏。
 横井小楠 文武一途之說、兵法問答二篇を收む。

○英步操新書 一 瓜生寅譯 慶應三、南越兵學所藏版。
 ○式英步操新書增補 八 同 慶應三、四、明治紀元。
 ○演習軌範 寫二 同 元治元とあり。
 鍊膽六策 自筆本一
 福井縣旌忠錄 四 遠山竹茂 明治四〇
 ○旌忠錄 一 坂井郡役所 大正四
 明治年間大野郡人表 錄 一 福井縣尙武會 同 五
 ○愛國第十四「若越」號 獻納報告書 一 福井縣隊區司令部内 昭和七
 ○高射砲第九「福井」號 獻納報告書 一 飛行機隊區司令部内 昭和七
 ○步兵第十九聯隊史 一 帝國聯隊史刊行會
 ○步兵第卅六聯隊史 一 同

福井縣郷土書目終

ふるき世のその面かげを忍ぶにはふみより外にしく物ぞなき

松平春嶽公

たのしみは珍しき書人にかり始め一ひらひろげたる時

橘曙寛

文机によるひるいは文見ればなほ奥ふかき千代のふる道

伴信友

昭和九年四月八日印刷
昭和九年四月十三日發行

〔非賣品〕

福井市立福井圖書館内

著作兼 發行者 石橋重吉

福井市清川上町一四三

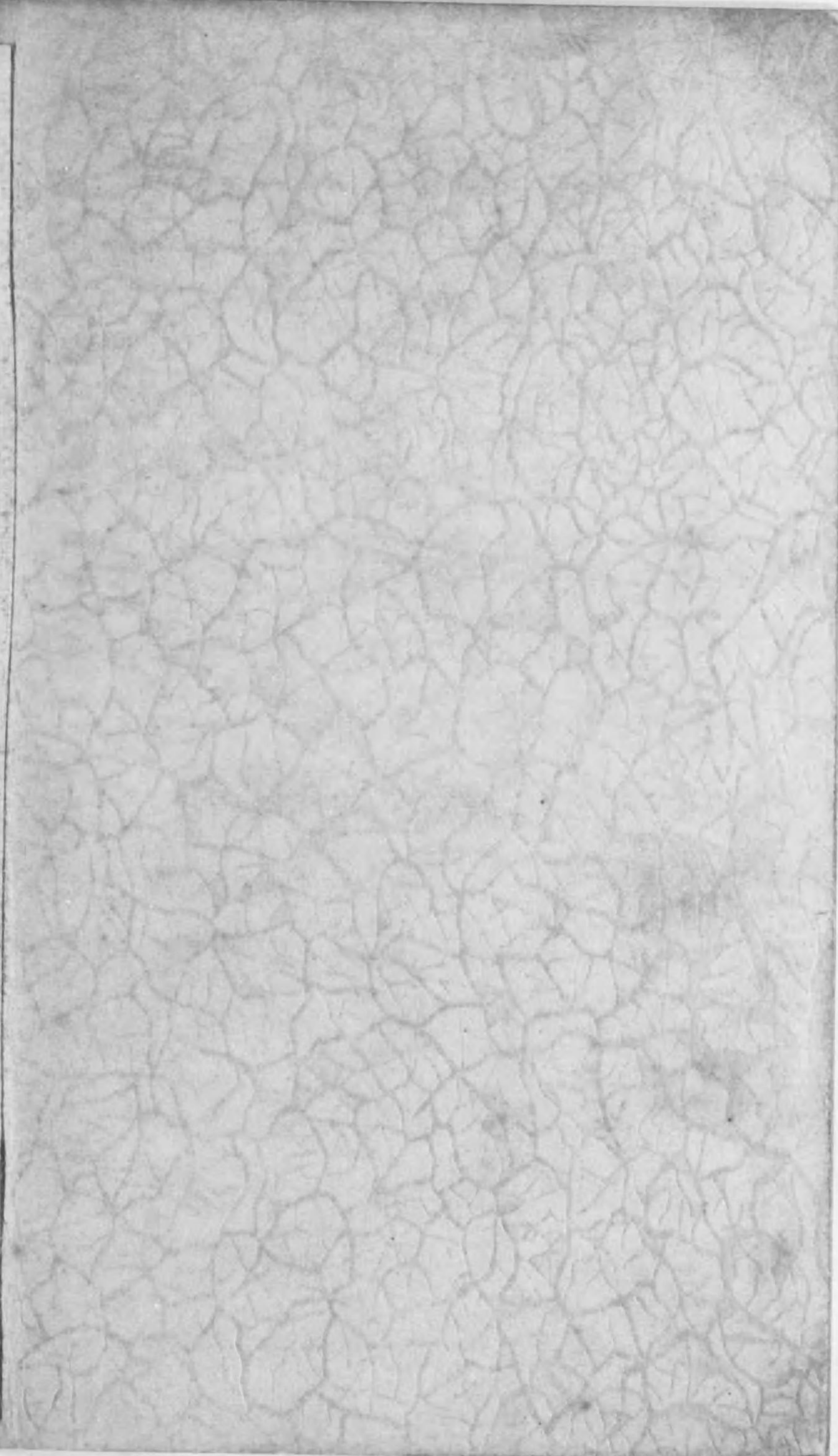
印刷人 柴田繁松

福井市清川上町一四三

印刷所 日進印刷所

電話八六九番

318
584



終